

知事就任後 2 年間の取組についてのアンケート結果

県では、三日月知事の就任から 2 年が経過したことを機に、この 2 年間の取組をとりまとめました。

その内容につきまして、県民目線で評価をいただくことで、知事の今後の政策判断の参考とさせていただくためにアンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成 28 年 8 月

★対象者：県政モニター 396 人

★回答数：298 人（回収率 75.3%）

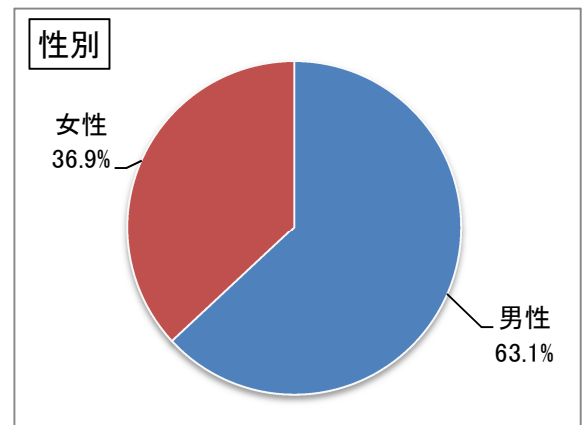
★担当課：企画調整課

（※四捨五入により割合の合計が 100.0%にならない場合があります。）

【属性】

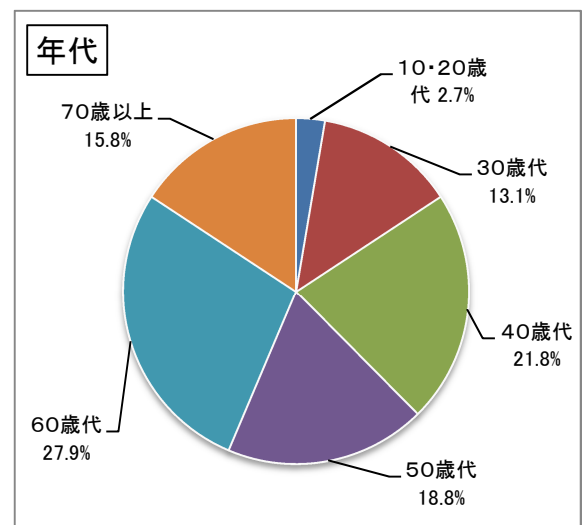
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	188	63.1
女性	110	36.9
合計	298	100.0



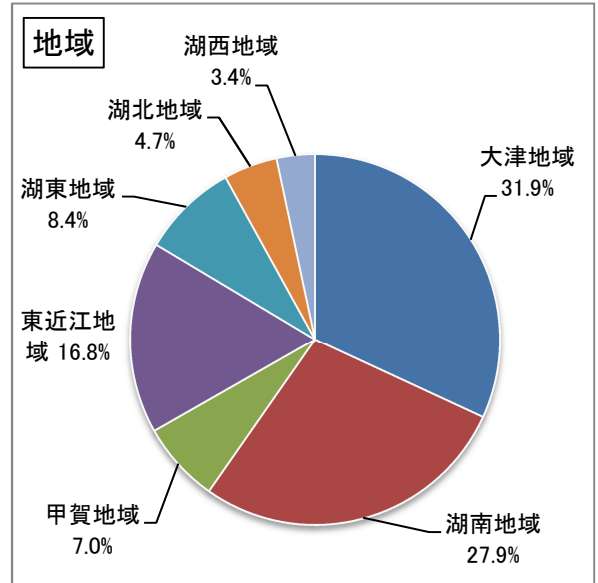
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	8	2.7
30歳代	39	13.1
40歳代	65	21.8
50歳代	56	18.8
60歳代	83	27.9
70歳以上	47	15.8
合計	298	100.0



◆地域

項目	人数（人）	割合（％）
大津地域	95	31.9
湖南地域	83	27.9
甲賀地域	21	7.0
東近江地域	50	16.8
湖東地域	25	8.4
湖北地域	14	4.7
湖西地域	10	3.4
合計	298	100.0



☆アンケート結果概要☆

●県政モニターによる各政策の評価結果の概要は以下のとおりでした。

「評価する」

2 徹底した現場主義の実践 (6 頁)	34.2%
3 県を売り込むセールスマンとして (8 頁)	30.5%
1 対話・共感・協働による県政の推進 (4 頁)	29.9%
6 (5) まもる～豊かなびわ湖を次世代に (44 頁)	24.5%
5 歴史的な課題への対応 (12 頁)	20.5%

「評価する」＋「おおむね評価する」

1 対話・共感・協働による県政の推進 (4 頁)	86.6%
2 徹底した現場主義の実践 (6 頁)	85.9%
6 (5) まもる～豊かなびわ湖を次世代に (44 頁)	83.6%
6 (4) ア ものづくり産業 (38 頁)	82.9%
6 (4) イ 農林水産業 (40 頁)	82.6%

「評価しない」

6 (2) ウ 道路 (30 頁)	6.4%
6 (2) エ 鉄道 (32 頁)	6.0%
6 (1) エ 教育 (20 頁)	5.7%
6 (2) イ 歩いて暮らせるまちへ (28 頁)	5.7%
4 世界から滋賀へ、滋賀から世界へ (10 頁)	5.0%

「あまり評価しない」＋「評価しない」

6 (2) ウ 道路 (30 頁)	32.9%
6 (2) エ 鉄道 (32 頁)	32.5%
6 (1) エ 教育 (20 頁)	27.5%
6 (2) イ 歩いて暮らせるまちへ (28 頁)	26.8%
6 (1) カ 地域コミュニティの活性化 (24 頁)	25.9%

●なお、昨年度結果からの上昇率は以下のとおりでした。

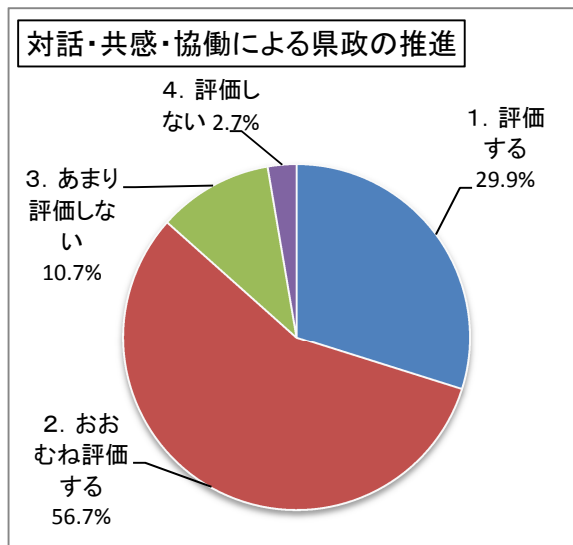
「評価する」＋「おおむね評価する」

6 (1) エ 教育 (20 頁)	11.4% (61.1% → 72.5%)
6 (3) はたらく～みんなの力を活かす協働社会 (36 頁)	10.0% (69.6% → 79.6%)
6 (4) イ 農林水産業 (40 頁)	9.7% (72.9% → 82.6%)
6 (4) ウ エネルギー・環境 (42 頁)	8.2% (67.7% → 75.9%)
6 (1) ウ 文化・スポーツ (18 頁)	6.3% (70.9% → 77.2%)

※昨年度に比べて評価が下がった項目はなし。

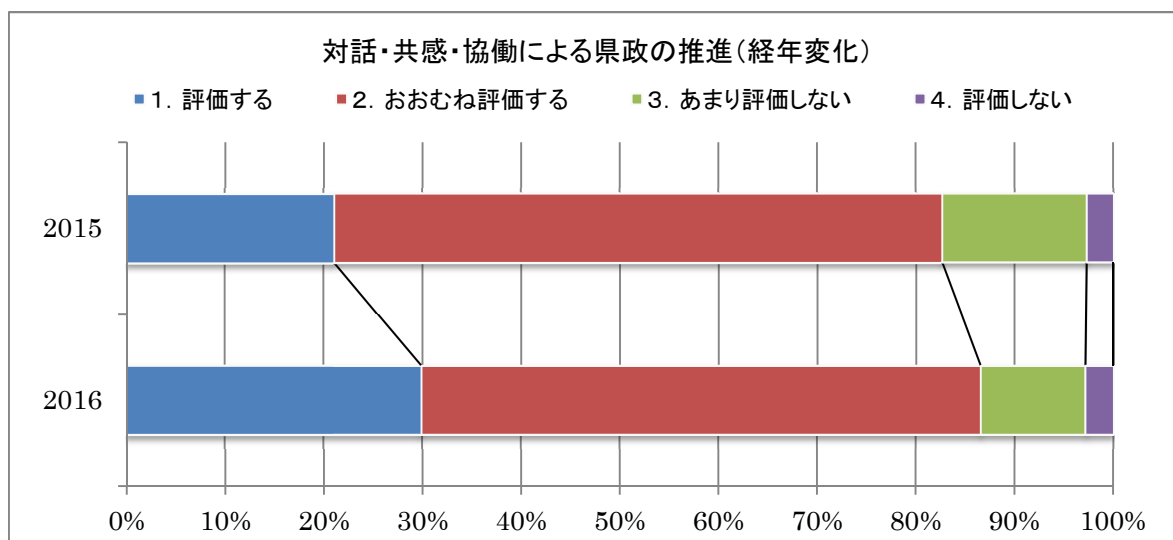
問1 「1 対話・共感・協働による県政の推進」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=298)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	89	29.9
2. おおむね評価する	169	56.7
3. あまり評価しない	32	10.7
4. 評価しない	8	2.7
合計	298	100.0

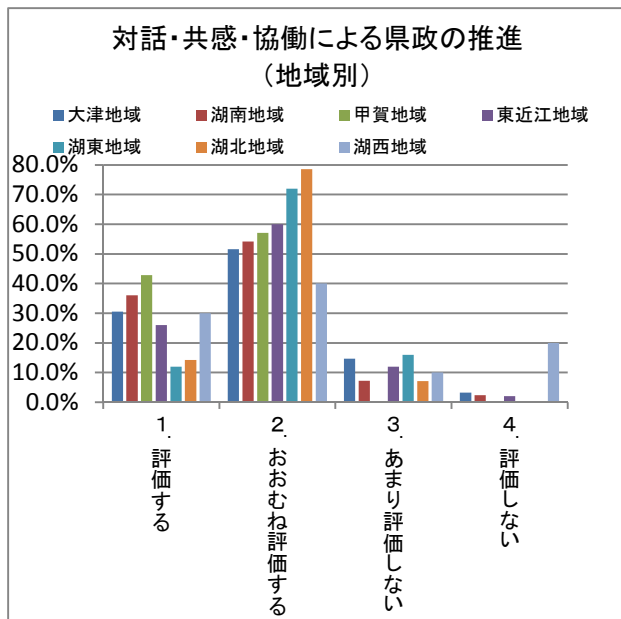
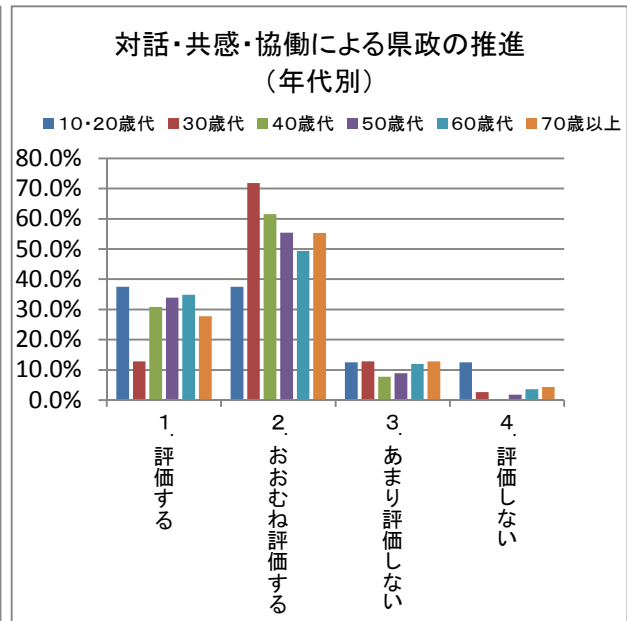
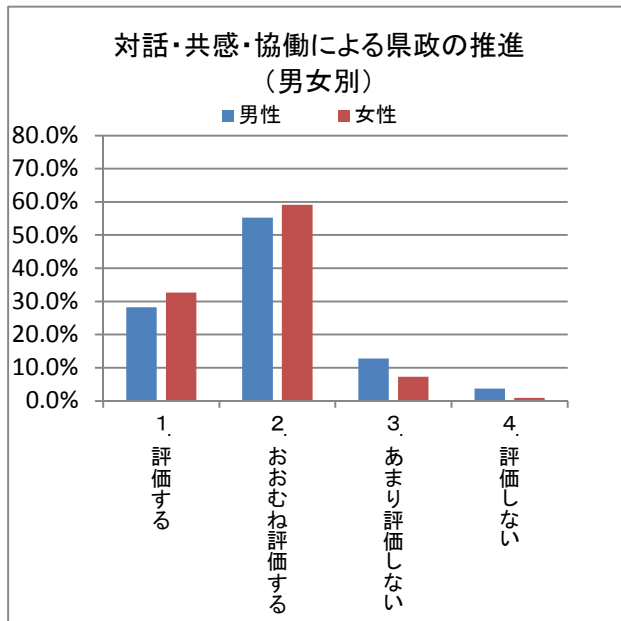


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・大学等との就職支援協定は評価できる。どこかの組織に所属していないと知事と話ができないのではなく、一般県民との対話の機会がもっと増えれば良い。
- ・多くの企業、大学等との連携を図ることにより、県民生活、防災等での安心感が生まれてくることを評価する。
- ・大学や企業との包括的連携協定や就職支援協定などはまだまだ入り口の段階で、具体的な成果が見えている訳ではなく、これからだと思う。
- ・取り組んだことに対しての結果が生活していて感じられない。
- ・一部の大学や企業、団体とだけ関係を持つことが、対話・共感・協働にはならないと思う。県(各課・各職員)が一般の県民と対話し、共感、協働しているとするには程遠い。



【クロス集計結果】

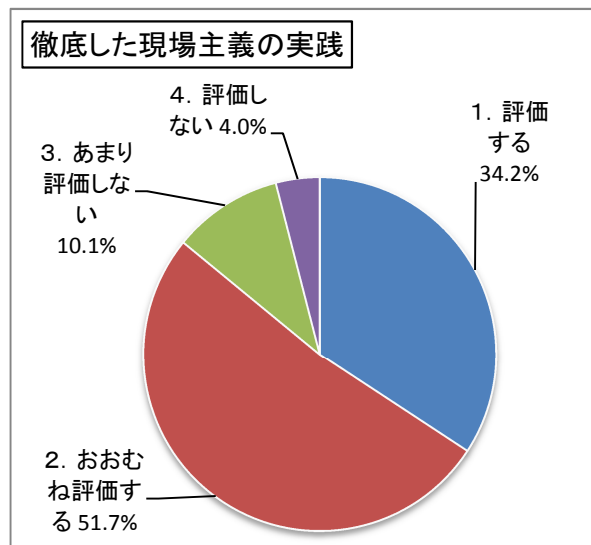


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、86.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く91.8%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、40歳代で92.3%、最も低かったのは、10・20歳代で75.0%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で100.0%、最も低かったのは、湖西地域で70.0%だった。

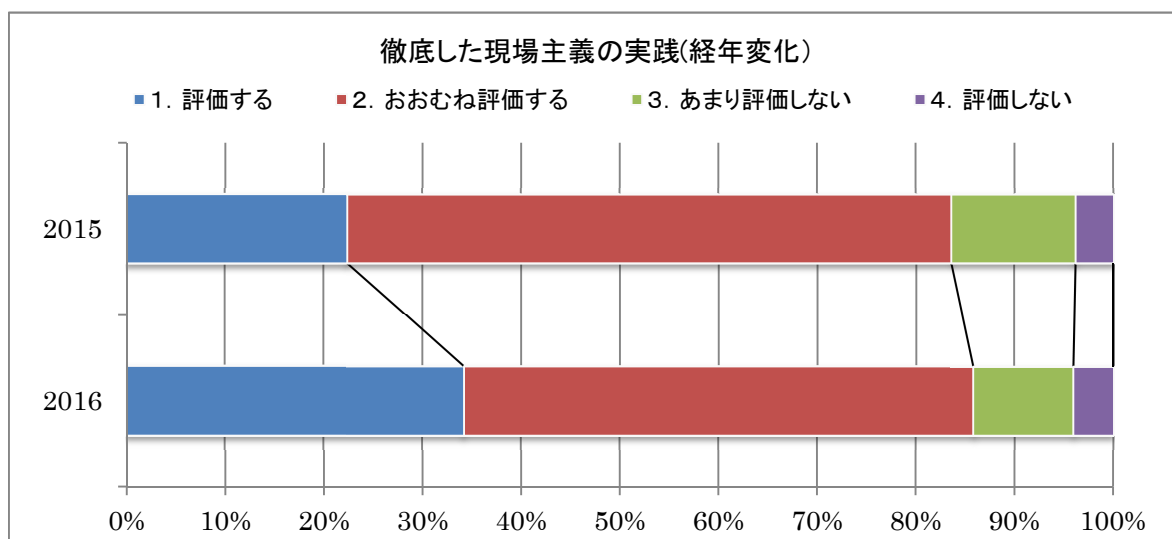
問2 「2 徹底した現場主義の実践」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=298)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	102	34.2
2. おおむね評価する	154	51.7
3. あまり評価しない	30	10.1
4. 評価しない	12	4.0
合計	298	100.0

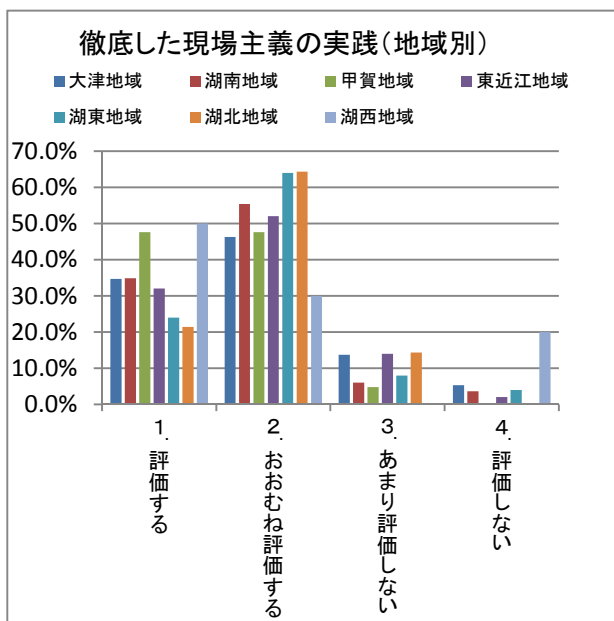
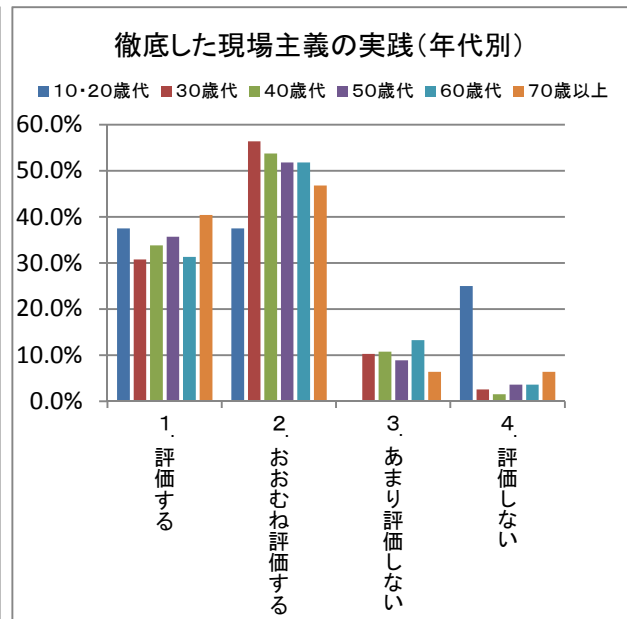
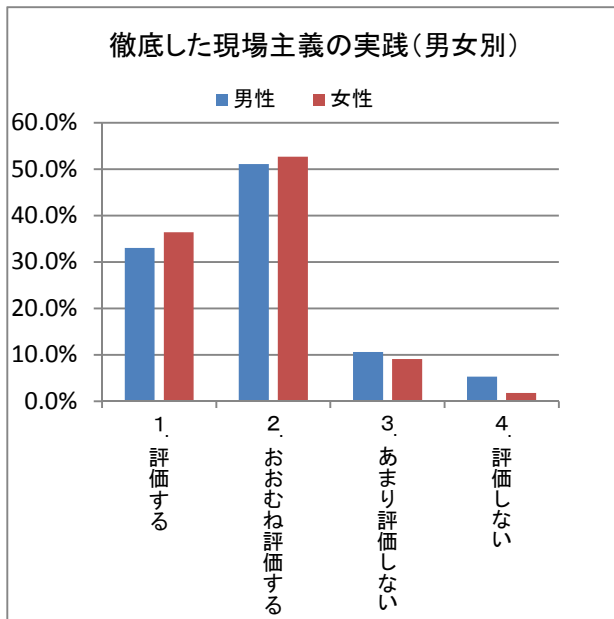


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見(抜粋)

- ・ 滋賀の各所に実際に居住したところがよいと思う。
- ・ 各市町での県民との対話、諸事情の収集及び自身の足で体感されている行動を評価する。
- ・ 形式的な行事とせず、実効性のある現場主義の実践であってほしい。
- ・ 実践した結果、県政に具体的にどのように生かされたのか示されていない。
- ・ 田舎暮らしは、数日では分からないことが多いと思う。
- ・ 知事のパフォーマンスにしか過ぎないように感じる。



【クロス集計結果】

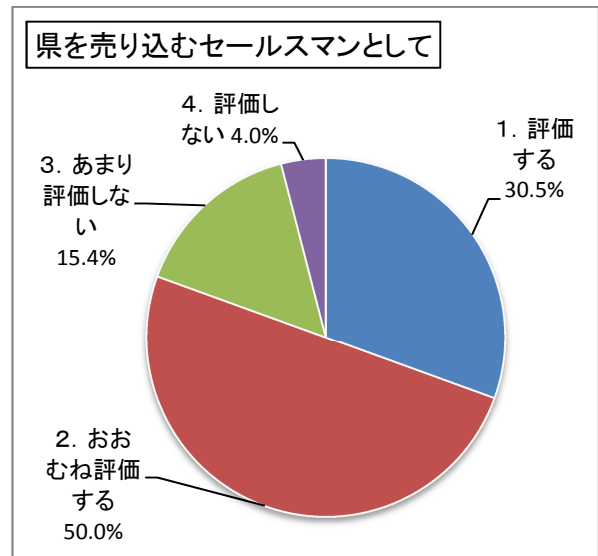


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、85.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く89.1%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、40歳代で87.6%、最も低かったのは、10・20歳代で75.0%だった。「評価する」との回答では、70歳以上が最も高く40.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で95.2%、最も低かったのは、湖西地域で80.0%だった。

問3 「3 県を売り込むセールスマンとして」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=298)

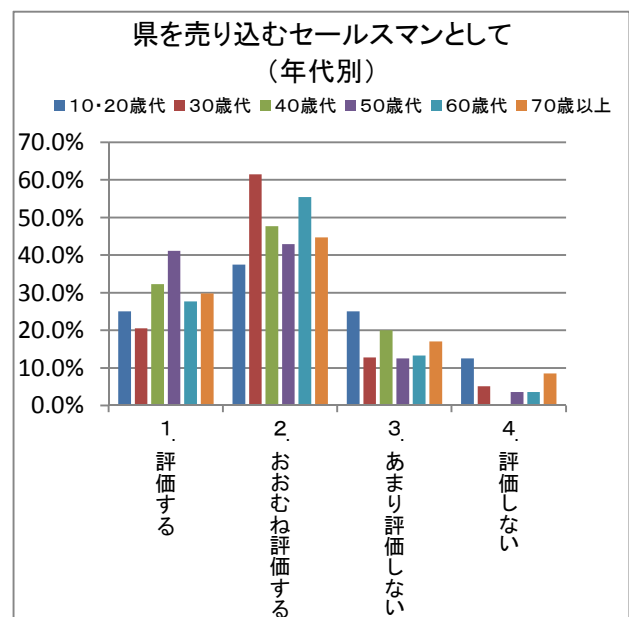
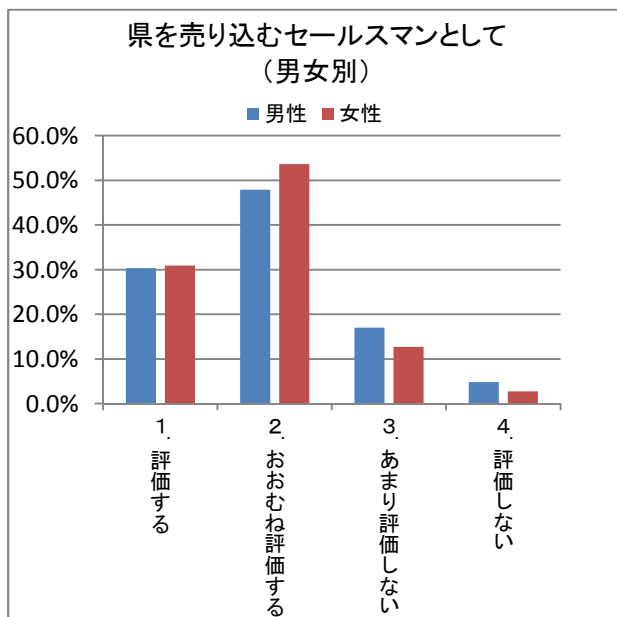
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	91	30.5
2. おおむね評価する	149	50.0
3. あまり評価しない	46	15.4
4. 評価しない	12	4.0
合計	298	100.0

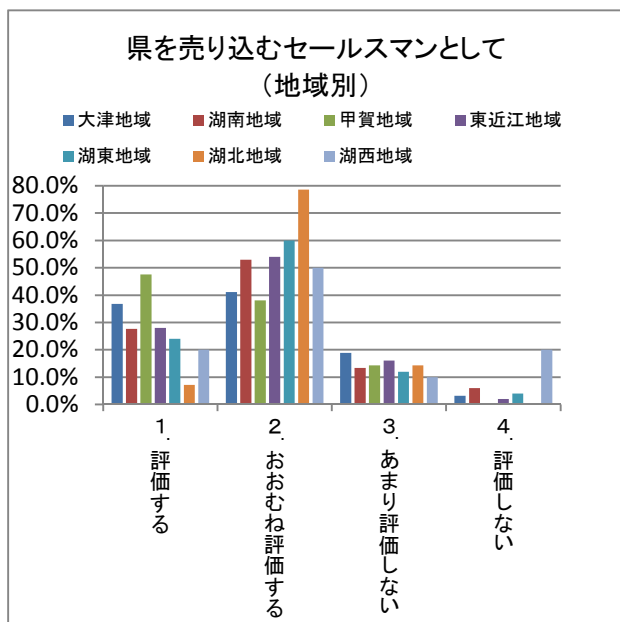


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・持ち前の親しみやすいキャラで全国に赴いて滋賀を売り込んでいた。
- ・米「みずかがみ」・近江の茶は、特に目立った。米は江州米として評価は高かったが、銘柄でのPRは記憶にない。
- ・観光資源をもっと全国および国外にもアピールしてほしい。
- ・県の物産を振興・発展させる上で知事の発信力は頼りになる。もっとメディアへの露出を果たしていただけたらと思う。
- ・取り組んだ内容も少ないし、県外の方々の認知度が上がっているとは思えない。

【クロス集計結果】



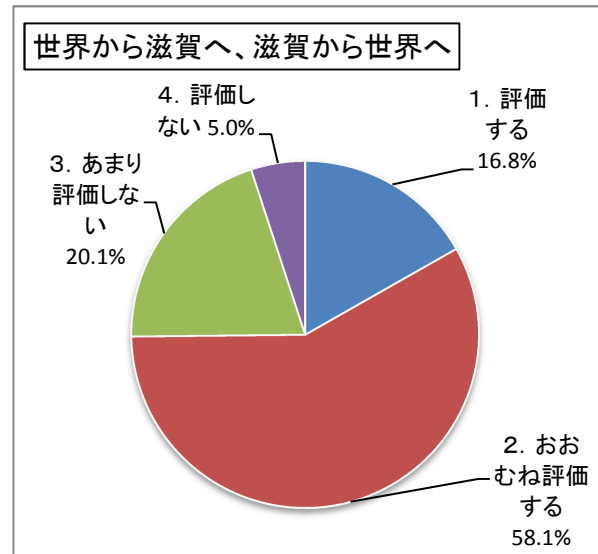


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、80.5%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く 84.5% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、50歳代で 84.0%、最も低かったのは、10・20歳代で 62.5%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域および湖北地域で 85.7%、最も低かったのは、湖西地域で 70.0%だった。ただし「評価する」との回答では各地域 20%~40%台であるが、湖北地域は 7.1%だった。

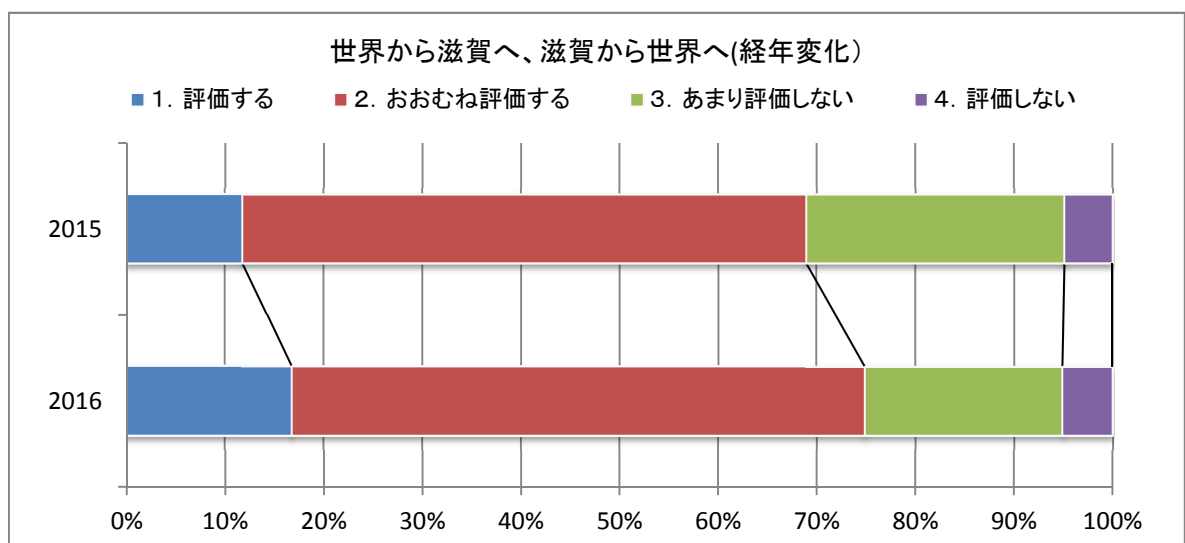
問4 「4 世界から滋賀へ、滋賀から世界へ」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=298)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	50	16.8
2. おおむね評価する	173	58.1
3. あまり評価しない	60	20.1
4. 評価しない	15	5.0
合計	298	100.0

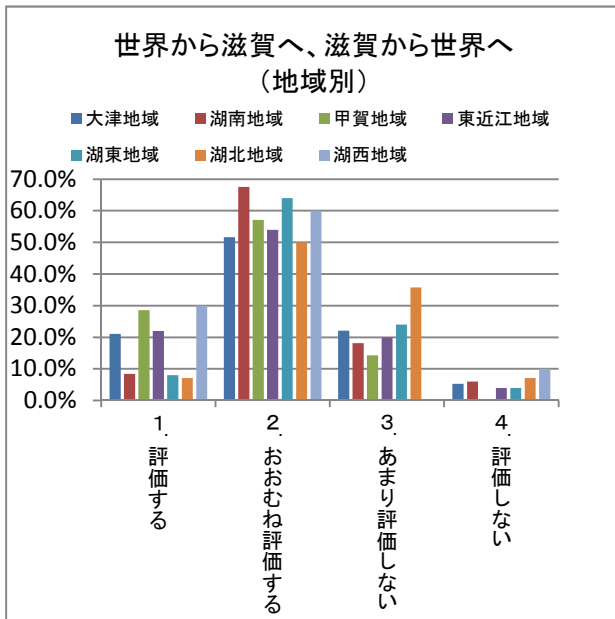
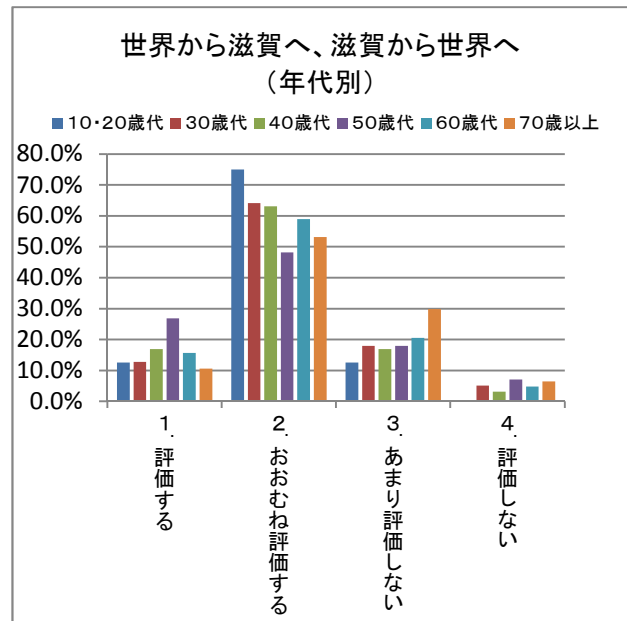
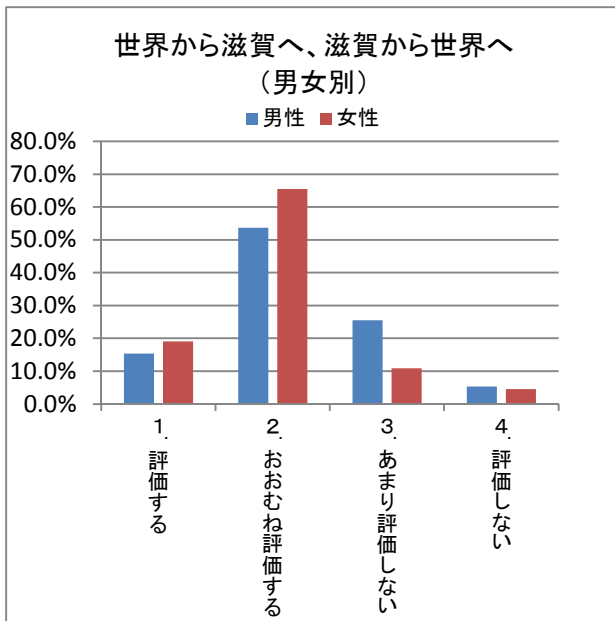


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 諸外国の方と色々交流されている事が理解出来た。
- ・ これらの活動が実務でしっかりフォローされているか少し疑問。
- ・ 滋賀県は、知名度が低いので、いろいろ取り組んでほしい。
- ・ 世界より、日本国内での認知度を上げるべきだと思います。
- ・ 世界に発信していると思うが、まだ不足していると思う。



【クロス集計結果】

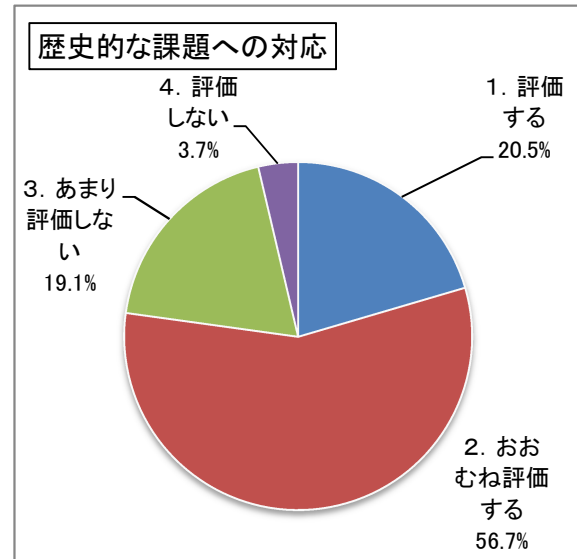


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、74.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く 84.6% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で 87.5%、最も低かったのは、70歳以上で 63.8%だった。「評価する」との回答では、50歳代が最も高く 26.8%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖西地域で 90.0%、最も低かったのは、湖北地域で 57.1%だった。

問5 「5 歴史的な課題への対応」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=298)

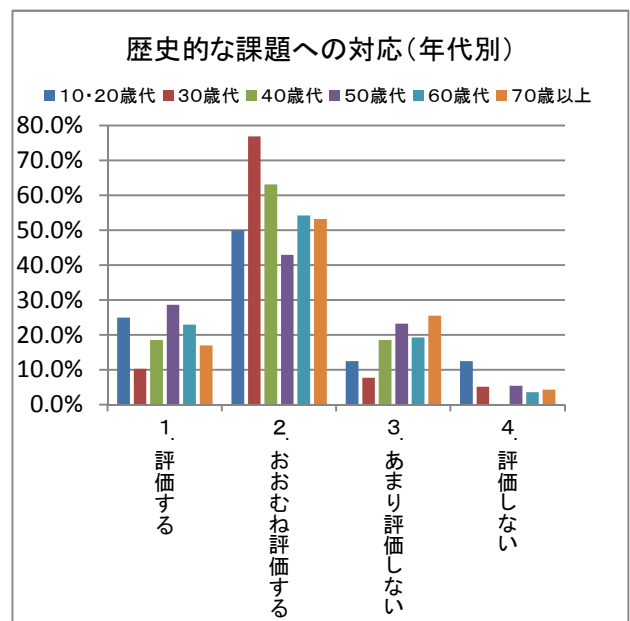
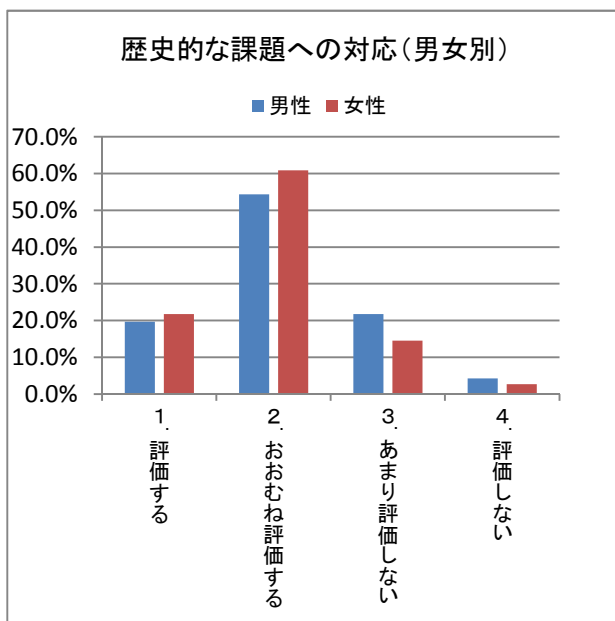
項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	61	20.5
2. おおむね評価する	169	56.7
3. あまり評価しない	57	19.1
4. 評価しない	11	3.7
合計	298	100.0

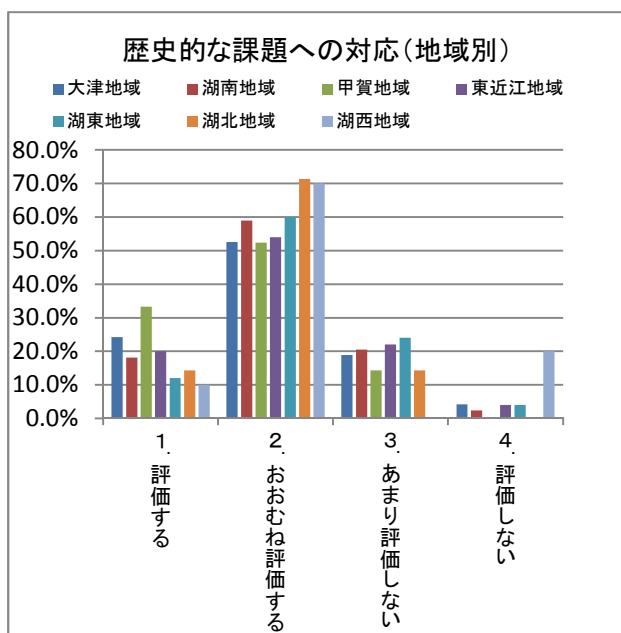


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 卒原発の取り組みは本当に大事なことだと思うので、県民として共に行動していきたいと思う。
- ・ 人口減少対策の具体的な施策が高齢者には見えてこない。卒原発は大いに評価する。
- ・ 卒原発、しがエネルギービジョンは確実に実践してほしい。
- ・ 滋賀県には、歴史的な遺産もおおいので発掘や建物の保存など尽力してほしい。
- ・ 琵琶湖を抱える本県として、もっと積極的に卒原発を唱えても良い様に思われる。

【クロス集計結果】





【結果分析】

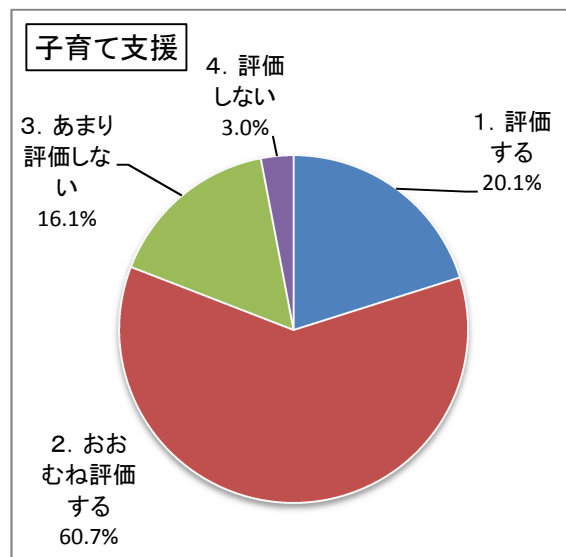
- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、77.2%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く 82.7% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30 歳代で 87.2%、最も低かったのは、70 歳以上で 70.2%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域および湖北地域で 85.7%、最も低かったのは、湖東地域で 72.0%だった。また、甲賀地域および湖北地域では、「評価しない」とする回答がゼロだった。

問6 「知事政策提案集「7つ星の政策カテゴリー」ごとの主な取組」について、以下の各項目をどう評価されますか。(回答チェックは項目ごとに1つだけ n=298)

(1) 「いきる～全ての人の人生の応援団」

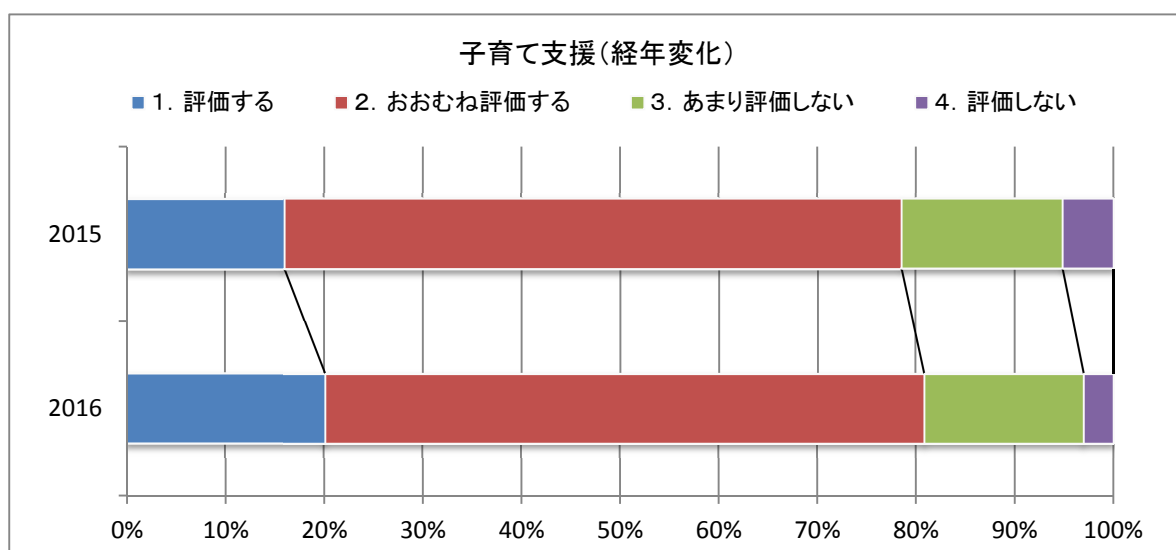
ア 子育て支援

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	60	20.1
2. おおむね評価する	181	60.7
3. あまり評価しない	48	16.1
4. 評価しない	9	3.0
合計	298	100.0

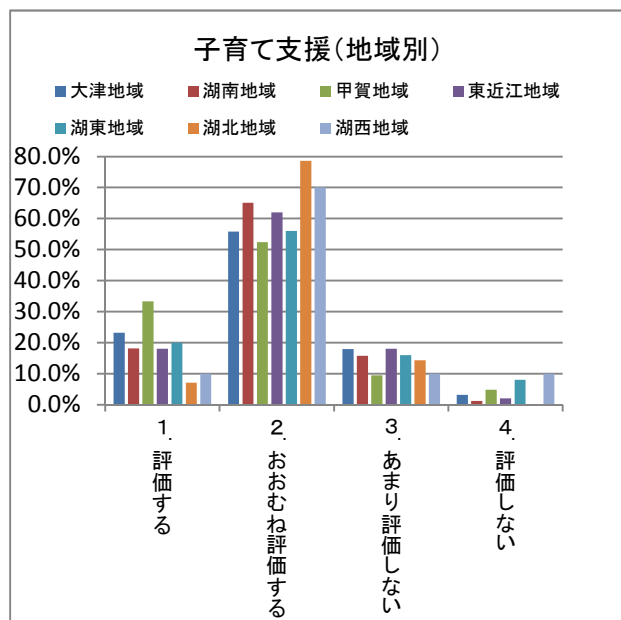
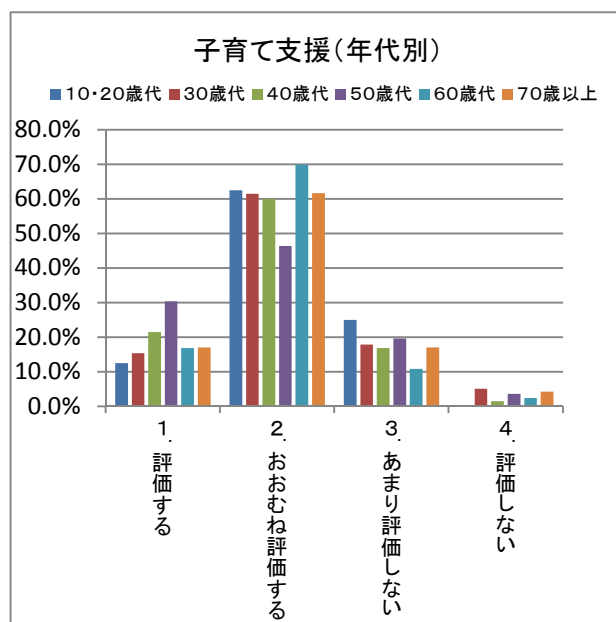
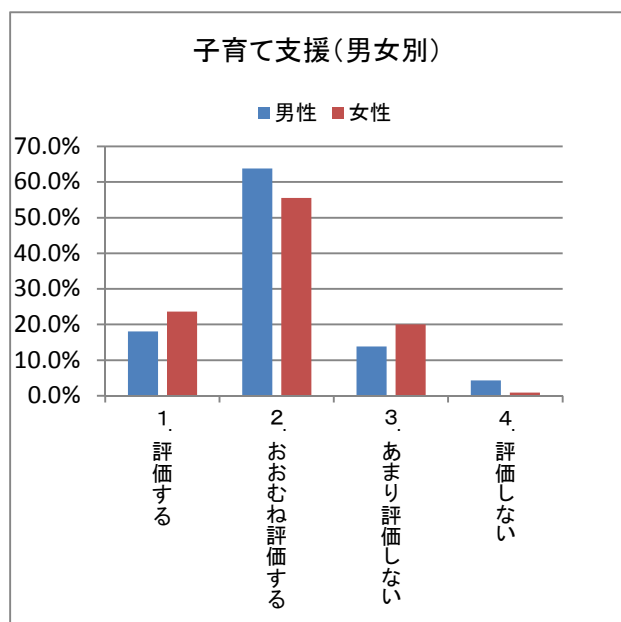


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・低所得層への負担軽減の取り組みは今後も拡充するべきだと思う。
- ・保育所等何名定員増と実現となっていますが、何人不足しているかの視点で評価してほしい。
- ・子育て出来る環境の整備、経済的負担の軽減策とともに、子育てしながら働ける場所の確保等にも努力をお願いします。
- ・親への支援と併行して保育士の収入を含めた就労環境の改善が重要。
- ・大阪や京都では私学助成がしっかりとしているが滋賀はされていない。乳幼児の支援は手厚いが、学童以上の子供に対する支援もしてほしい。



【クロス集計結果】

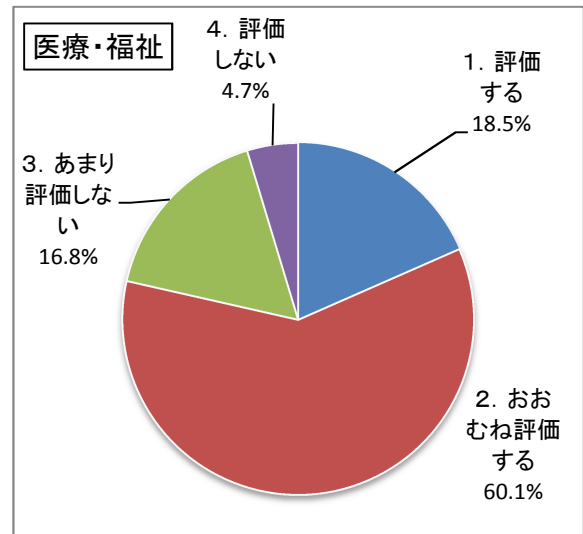


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、80.8%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は男性のほうが高く 81.9% だった。「評価する」との回答では女性のほうが高く 23.6%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、60歳代で 86.8%、最も低かったのは、10・20歳代で 75.0%だった。「評価する」との回答では 50歳代が最も高く 30.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域および湖北地域で 85.7%、最も低かったのは、湖東地域で 76.0%だった。

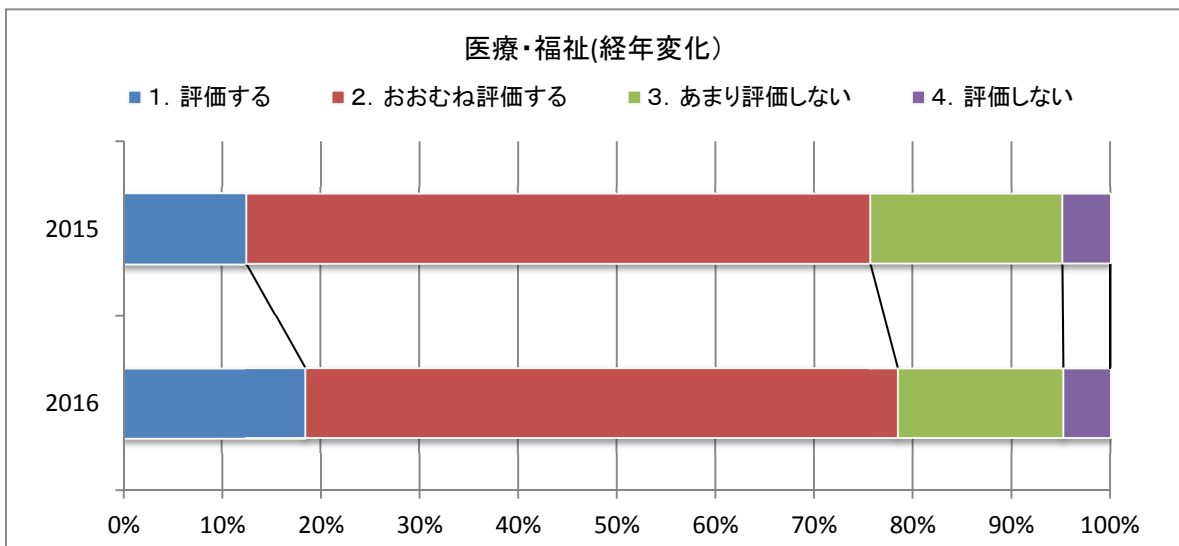
イ 医療・福祉

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	55	18.5
2. おおむね評価する	179	60.1
3. あまり評価しない	50	16.8
4. 評価しない	14	4.7
合計	298	100.0

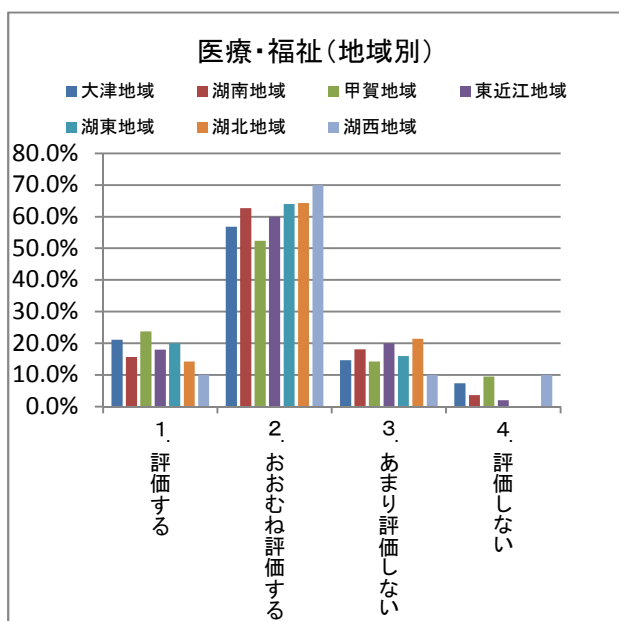
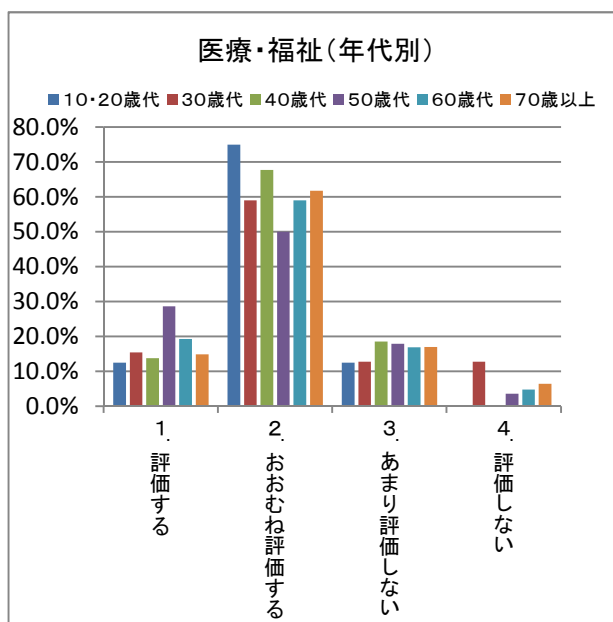
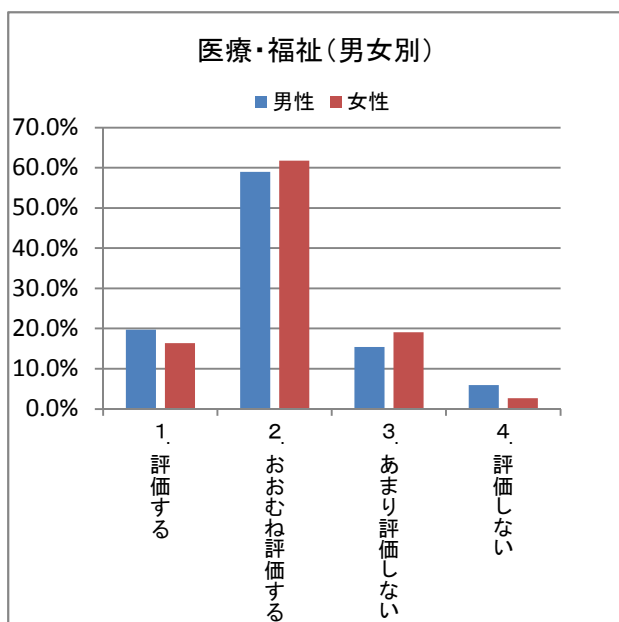


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ドクターヘリの導入により、医療への安心感が増した。
- ・超高齢化社会を迎えるので、スピード感をもって対応していただきたいと思う。
- ・まだまだ、認知症対策やガン対策の充実を願う。
- ・医療費の補助をせめて小学生の間はしてほしい。
- ・障害者福祉の分野において、いわゆる65歳問題について、それまで受けられていた支援が受けられなくなることがないように、滋賀県が率先して、取り組んでほしい。



【クロス集計結果】

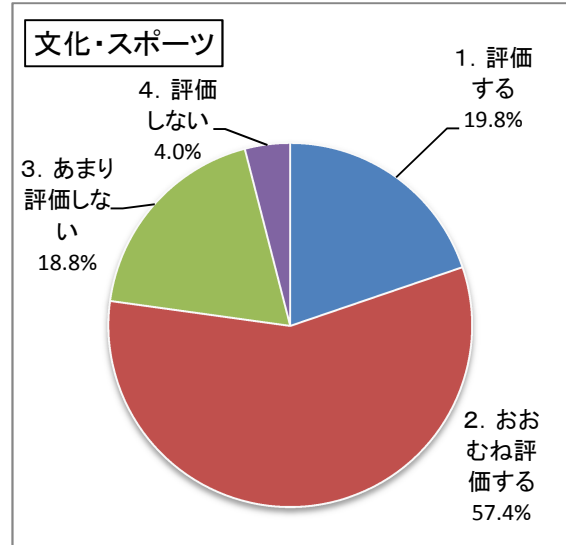


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、78.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は男性のほうが高く 78.7% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で 87.5%、最も低かったのは、30歳代で 74.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で 84.0%、最も低かったのは、甲賀地域で 76.2%だった。ただし、「評価する」と回答された割合は甲賀地域が最も高く 23.8%だった。

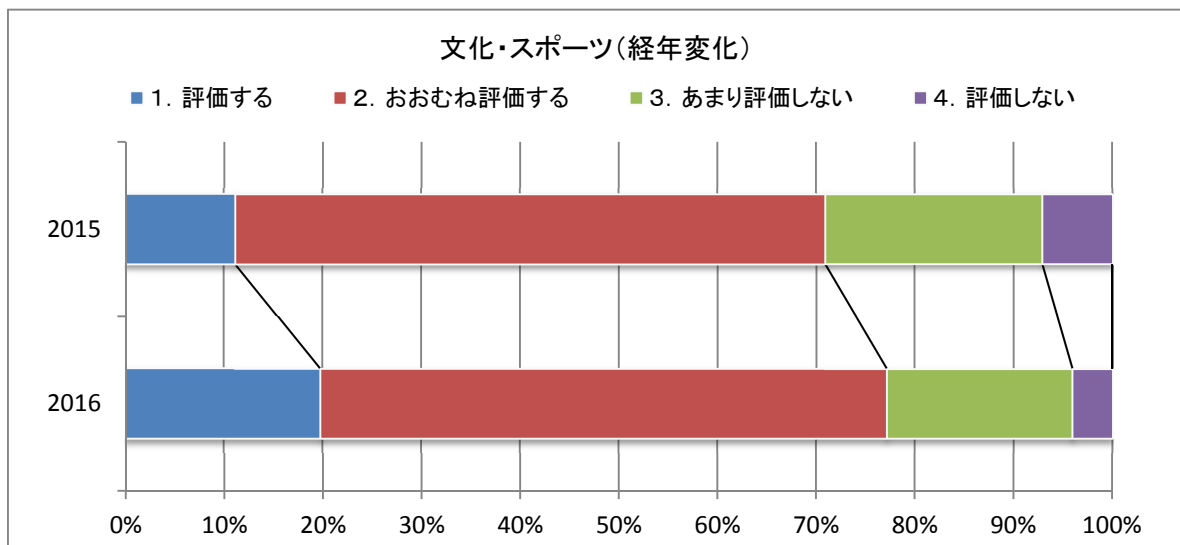
ウ 文化・スポーツ

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	59	19.8
2. おおむね評価する	171	57.4
3. あまり評価しない	56	18.8
4. 評価しない	12	4.0
合計	298	100.0

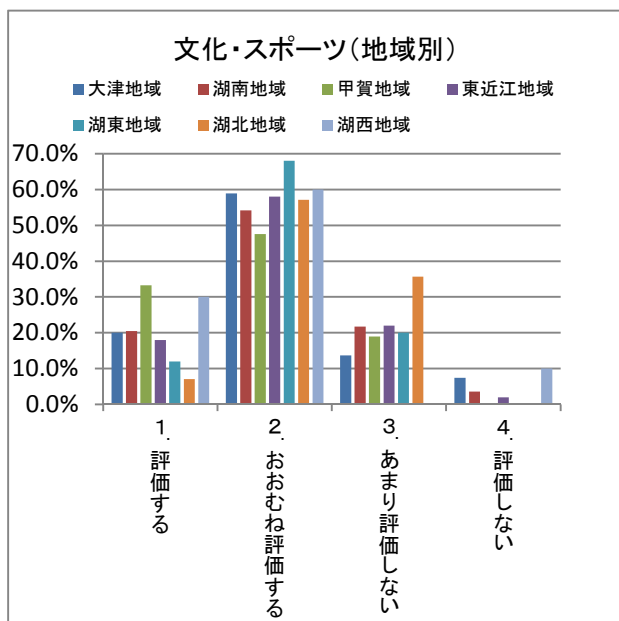
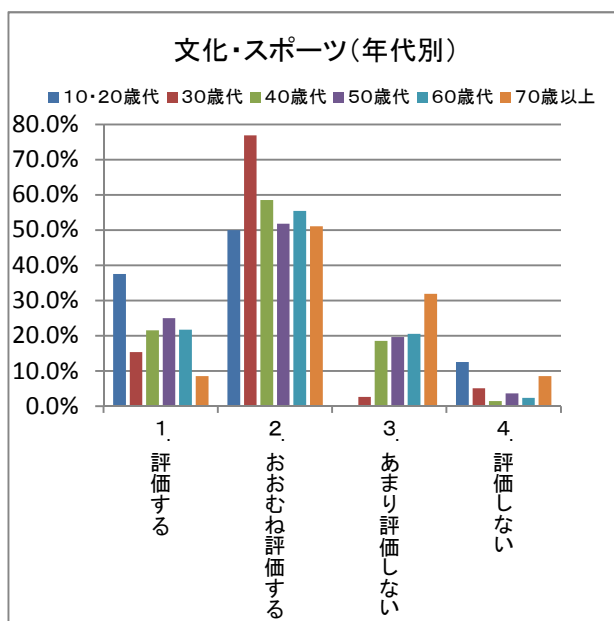
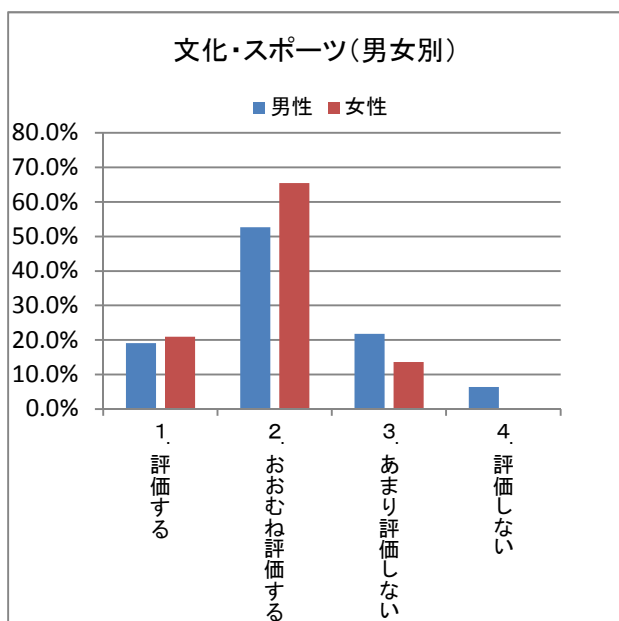


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 新生美術館整備は思い切ってやってほしい。あまり予算優先でつまらないものを作らないで。この点ではびわ湖ホールは本当にいい施設です。
- ・ 滋賀開催の国体に向けての取組みをいろいろな場で発信して、県民全体が盛り上げムードになって滋賀が元気になる起爆剤にしてほしい。
- ・ スポーツ、文化の発展は県カアップに大きく寄与するものであり、大いに期待します。
- ・ アールブリュット等新しい取り組みは評価するが、スポーツの振興にもっと頑張ってもらいたい。
- ・ 他府県に行かずともオリンピックに出られる水準の選手育成が幼少期より可能になればよいと思う。
- ・ 私もスポーツをしています。もっともっとスポーツしやすい滋賀県になってほしいです。大きなアリーナがほしいです。



【クロス集計結果】

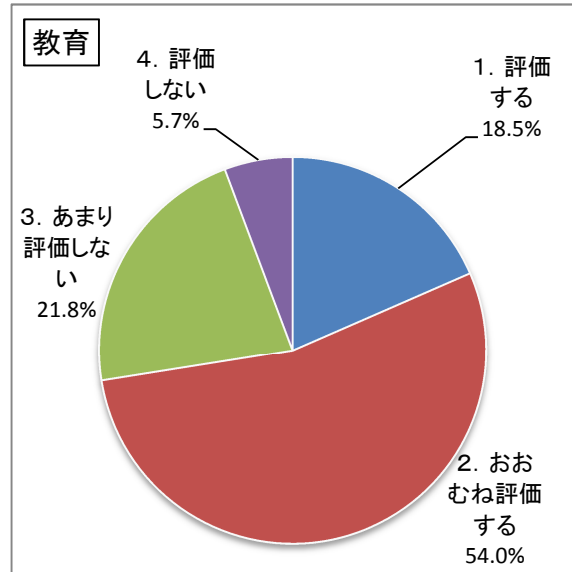


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、77.2%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く 86.4% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30歳代で 92.3%、最も低かったのは、70歳以上で 59.6%だった。ただし「評価する」と回答された割合で見ると、30歳代は70歳以上の8.5%の次に低く、15.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖西地域で 90.0%、最も低かったのは、湖北地域で 64.2%だった。

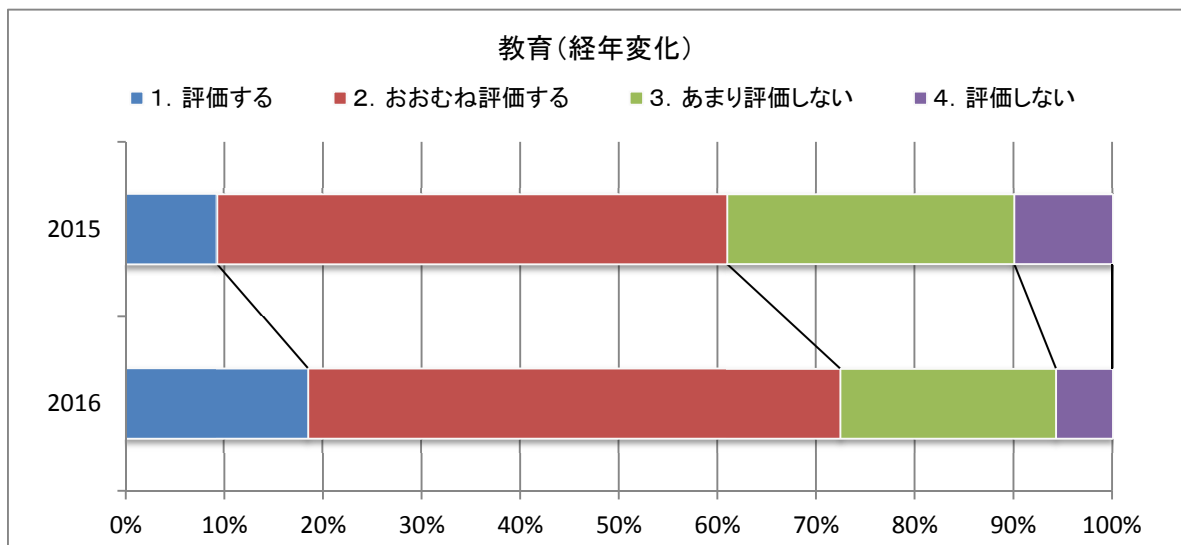
エ 教育

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	55	18.5
2. おおむね評価する	161	54.0
3. あまり評価しない	65	21.8
4. 評価しない	17	5.7
合計	298	100.0

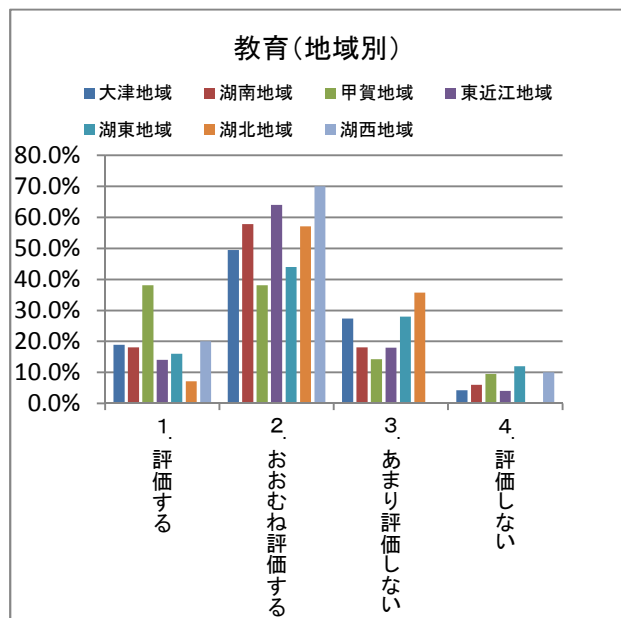
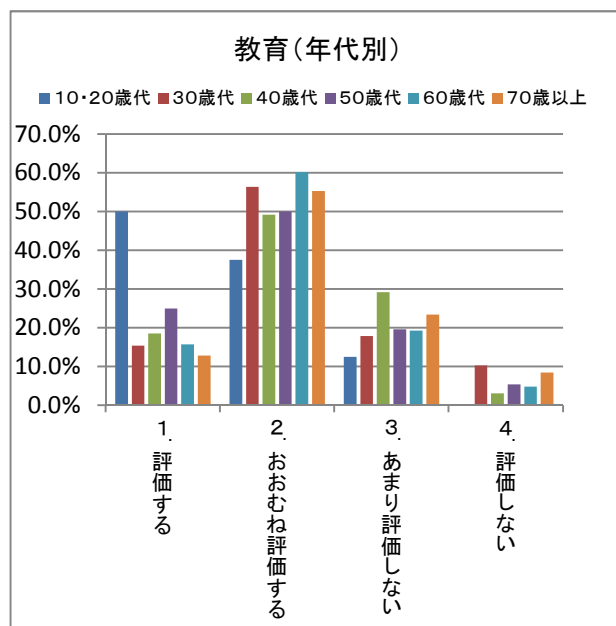
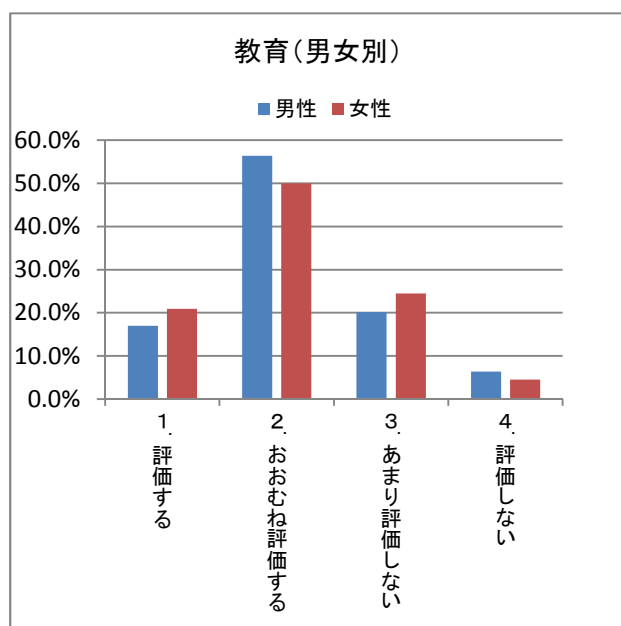


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ うみのこの交流航海が他府県の児童とも行われていることを知らなかったが、とてもよい取り組みだと思う。
- ・ 森林環境学習、学習船を利用した教育等は滋賀県ならではのものと感じ、自然に接しながら学べることは素晴らしいと思う。
- ・ 先生の疲弊についてよく聞く。教師が十分仕事できる環境にして初めて本当の教育が出来ます。教師の実態をもっと把握してほしい。
- ・ 特別支援学校の大規模化について、どんな重い障害があっても、安心して教育が受けられるよう、早急に解決してほしい。
- ・ 35人の学級は多いような気がする。出来るだけ子供1人1人をしっかり見てほしいし、教育の人材育成や人材確保も必要だと思う。人によるかと思うが、先生は本当に忙しそう。
- ・ 学力テストの結果がすべてではありませんが、もっと今の滋賀県全体の学力向上を目指すべき。



【クロス集計結果】

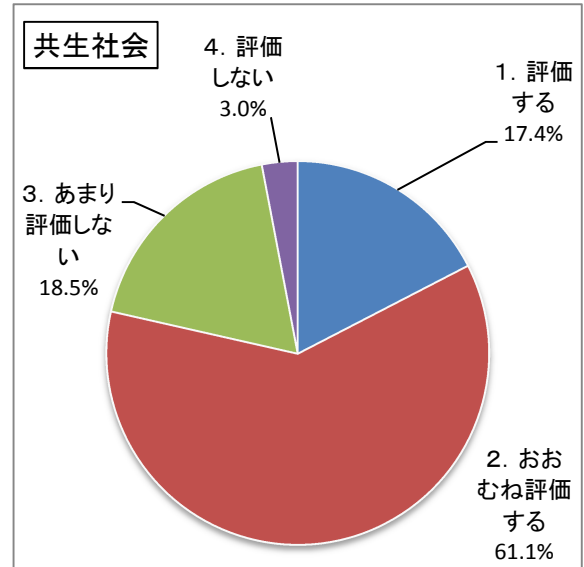


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、72.5%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は男性のほうが高く73.4%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で87.5%、最も低かったのは、40歳代で67.7%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖西地域で90.0%、最も低かったのは、湖東地域で60.0%だった。「評価する」と回答された割合で見ると、他地域が20%以下であるのに対し、甲賀地域は38.1%だった。

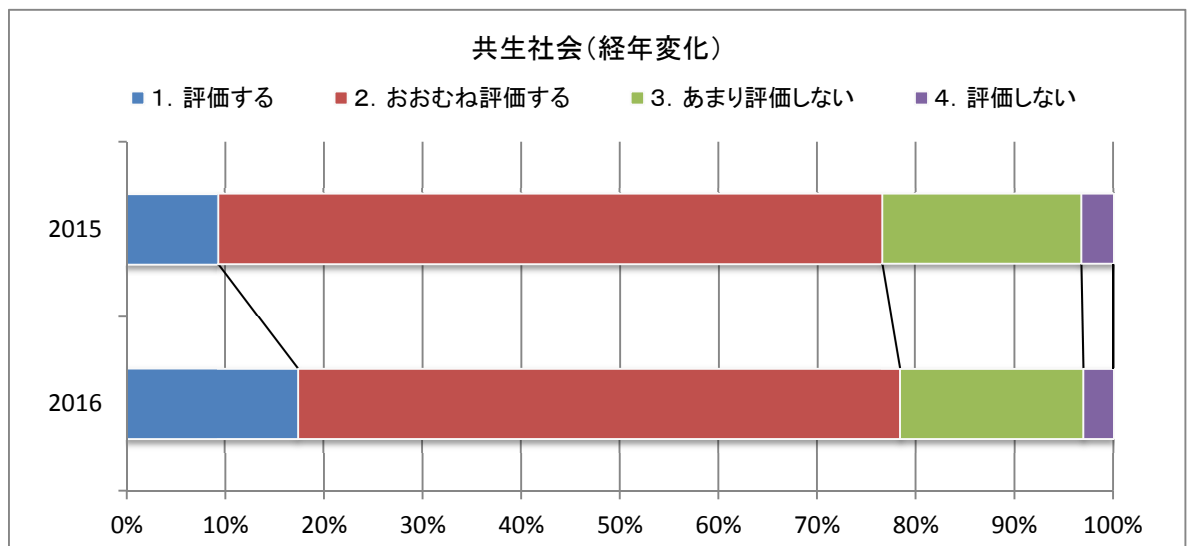
オ 共生社会

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	52	17.4
2. おおむね評価する	182	61.1
3. あまり評価しない	55	18.5
4. 評価しない	9	3.0
合計	298	100.0

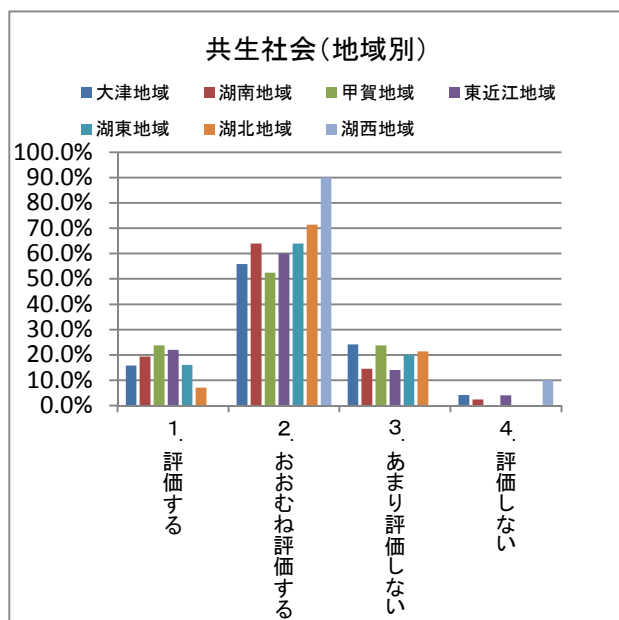
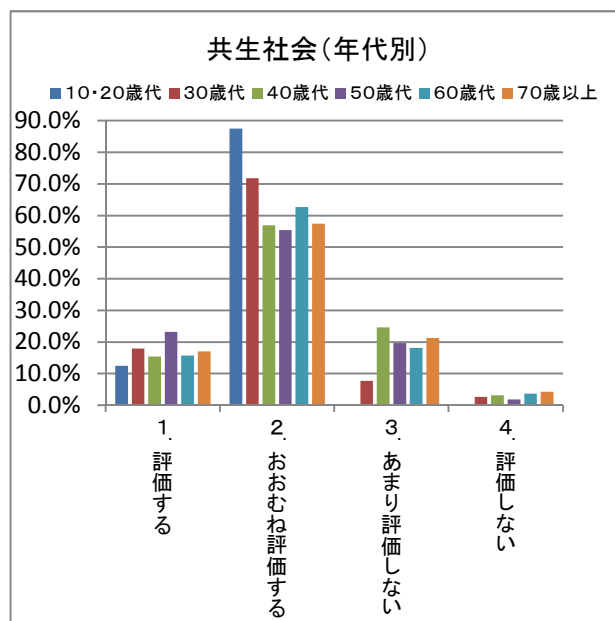
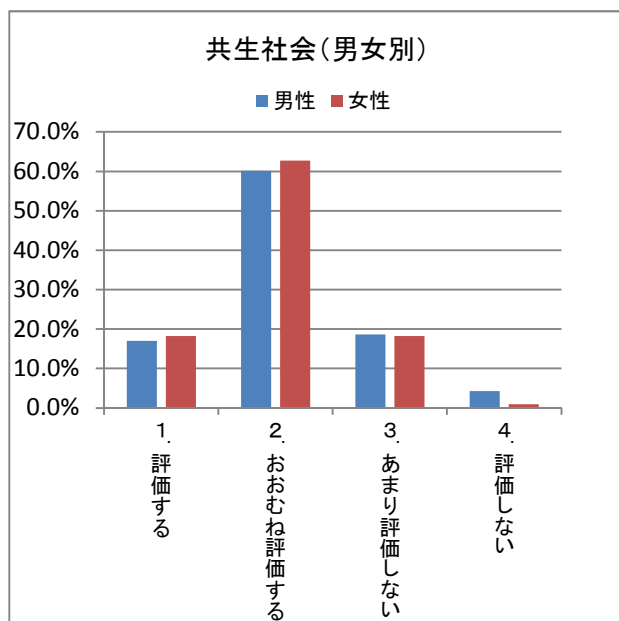


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・インクルーシブ教育の推進のため、現在教職にある人ももっと知識を持ってほしい。
- ・発達障害者の就職支援に力を入れてほしい。
- ・健常者と障害者が助け合う社会、また、犯罪者の更生も大切な取り組みと考える。
- ・琵琶湖清掃に参加していても年々参加人数が減っていく等、先行きに不安を感じる。



【クロス集計結果】

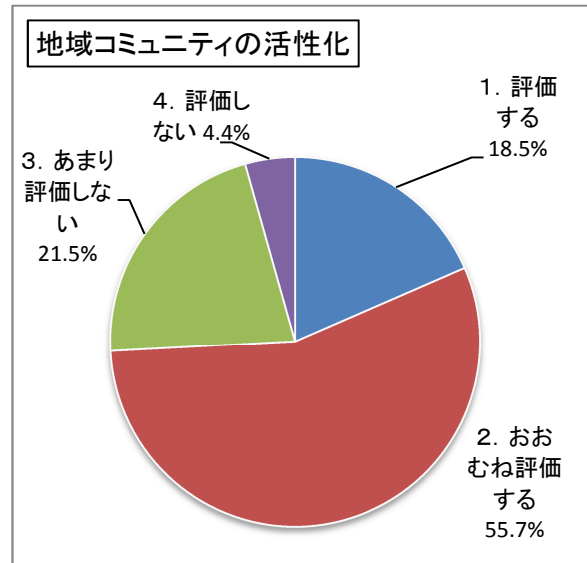


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、78.5%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く 80.9% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、10～30 歳代の若い世代では 80%を超えたが、40 歳代以上は 70%台であった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖西地域で 90.0%、最も低かったのは、大津地域で 71.6%だった。ただし、「評価する」との回答では湖西地域はゼロだった。

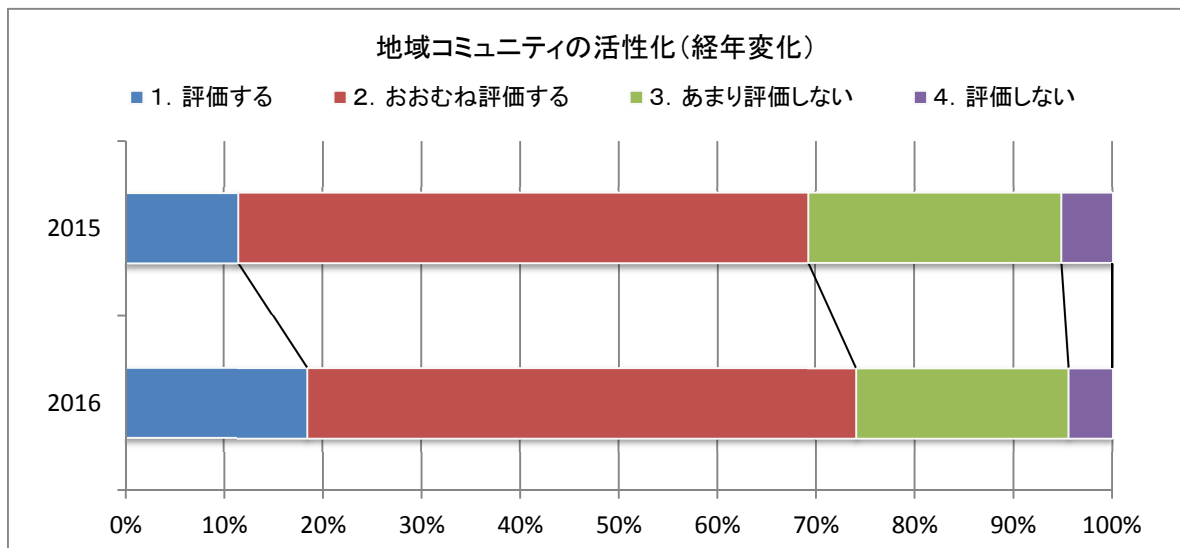
カ 地域コミュニティの活性化

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	55	18.5
2. おおむね評価する	166	55.7
3. あまり評価しない	64	21.5
4. 評価しない	13	4.4
合計	298	100.0

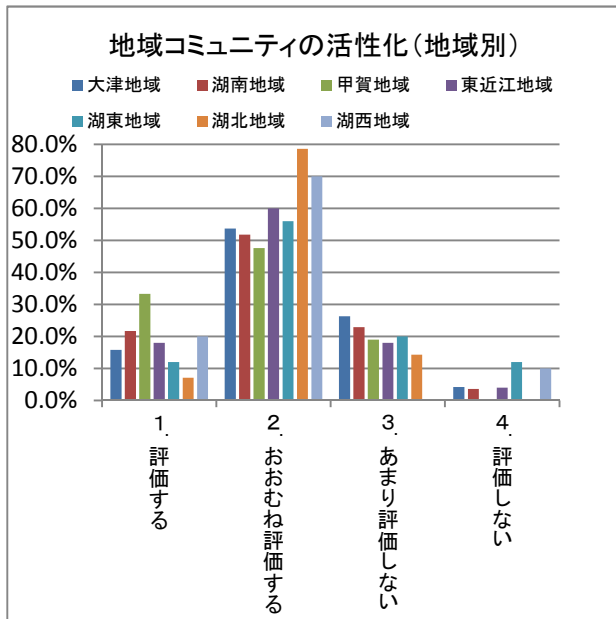
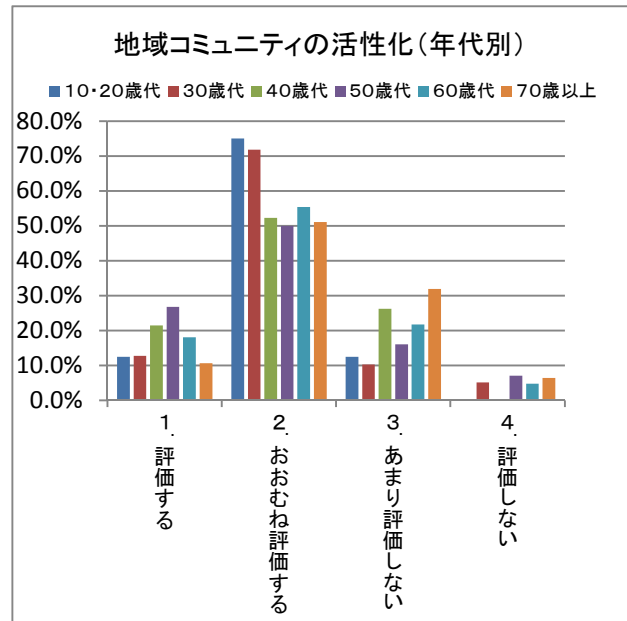
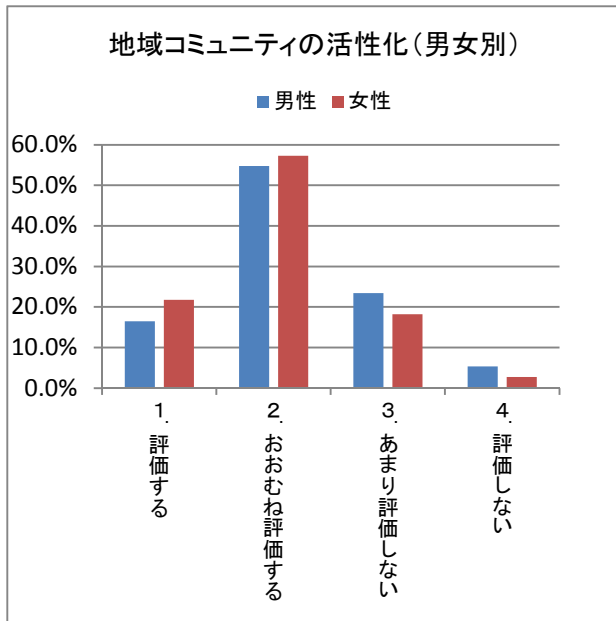


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 自主防災組織率向上、よいことです。
- ・ 人口が減少していることでコミュニティを維持することが困難な地域もありますが、それなりの規模や、やり方で乗りきらなければ、維持できません。
- ・ 自治会活動にあまり興味を示さない若い世代～中年が多いので、もっと基本的な対策を考えて欲しい。
- ・ 若者の出会いの直接的な場づくりを行政がするのではなく、若者が活動する県の取り組みを通じて行うなど、別の形でサポートすることがよい。



【クロス集計結果】



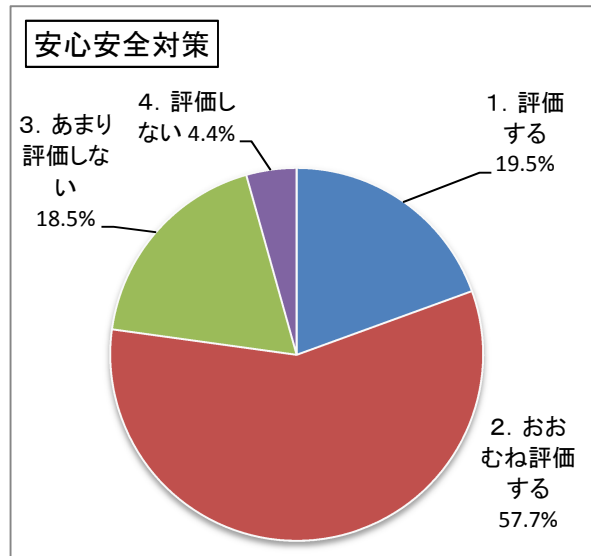
【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、74.2%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く79.1%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、10・20歳代で87.5%、最も低かったのは、70歳以上で61.7%だった。「評価しない」との回答では10・20歳代および40歳代でゼロだった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖西地域で90.0%、最も低かったのは、湖東地域で68.0%だった。

(2)「うごく～新しい公共交通の推進」

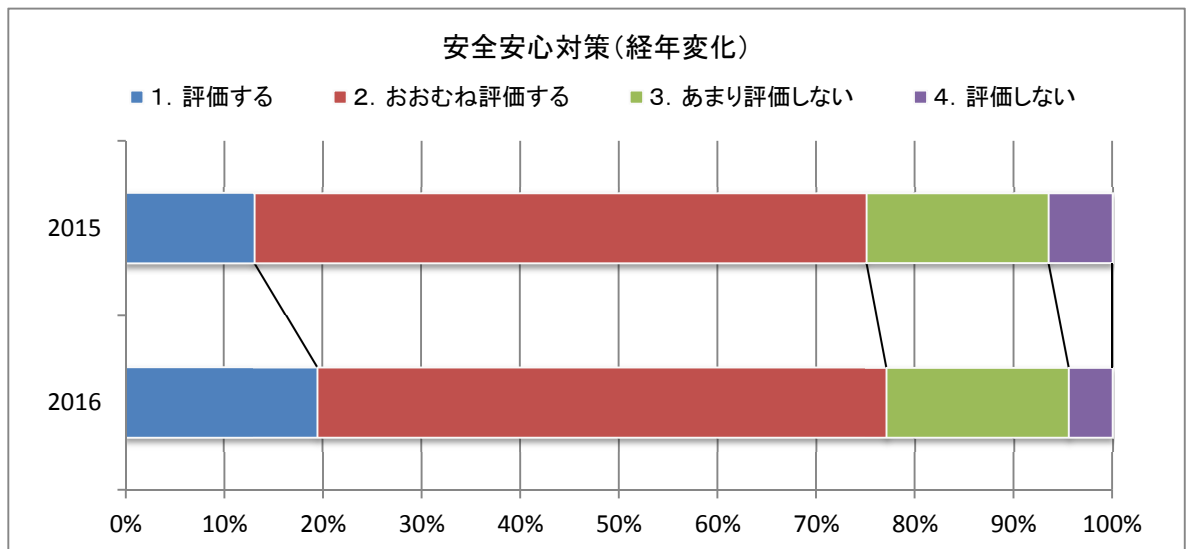
ア 安心安全対策

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	58	19.5
2. おおむね評価する	172	57.7
3. あまり評価しない	55	18.5
4. 評価しない	13	4.4
合計	298	100.0

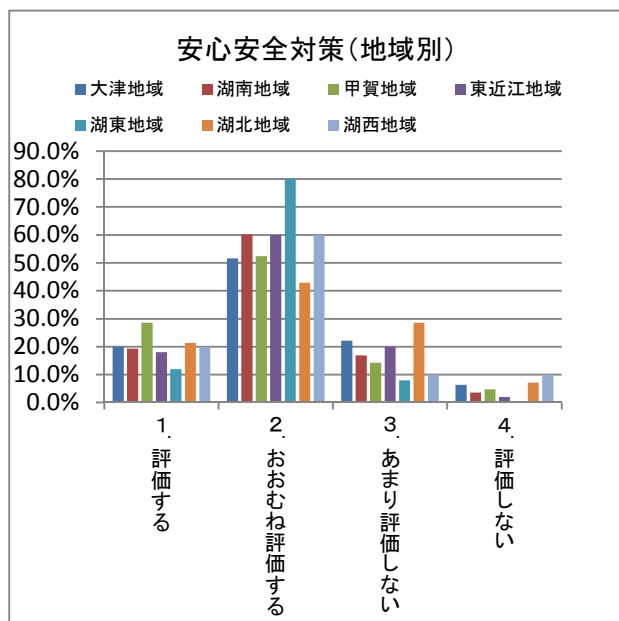
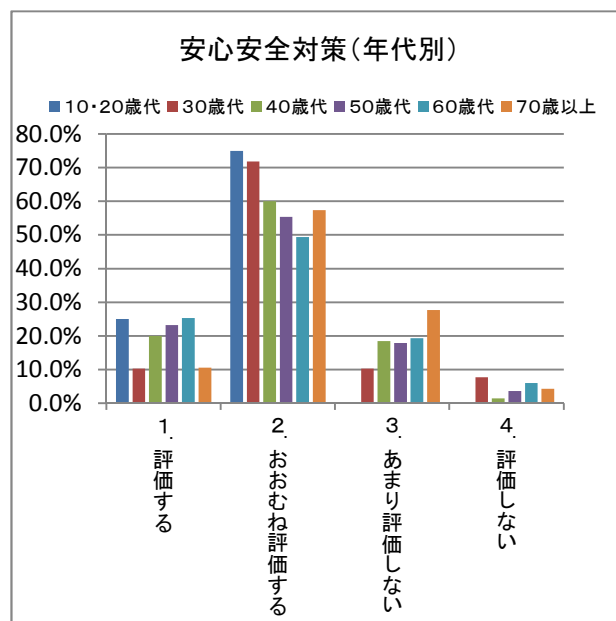
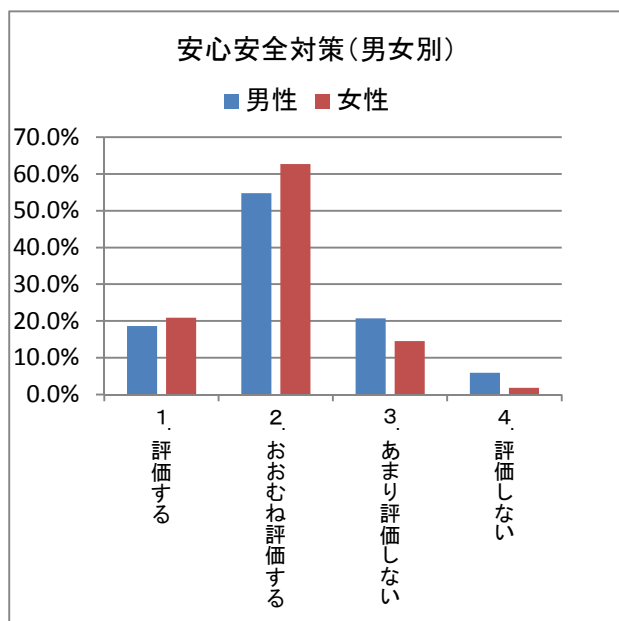


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・インフラの長寿命化は非常に重要だと思う。
- ・元 JR 出身の強みを活かして頑張ってもらいたい。
- ・自転車でポケモン go が流行ってきている。歩行者保護から、取締りを強化してほしい。
- ・交通事故対策をもっと取り組んでほしい。自転車も条例で免許が必要にしたらどうか。
- ・歩道・自転車道も未整備なところが多いのでとても安全とは思えない。



【クロス集計】

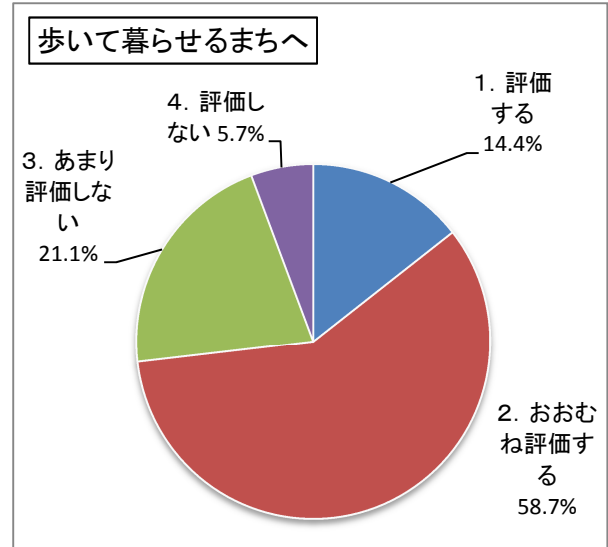


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、77.2%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く 83.6% だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は年代が上がるほどに低下し、70歳以上では 68.0%であった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で 92.0%、最も低かったのは、湖北地域で 64.3%だった。また「評価しない」との回答では湖東地域でゼロだった。

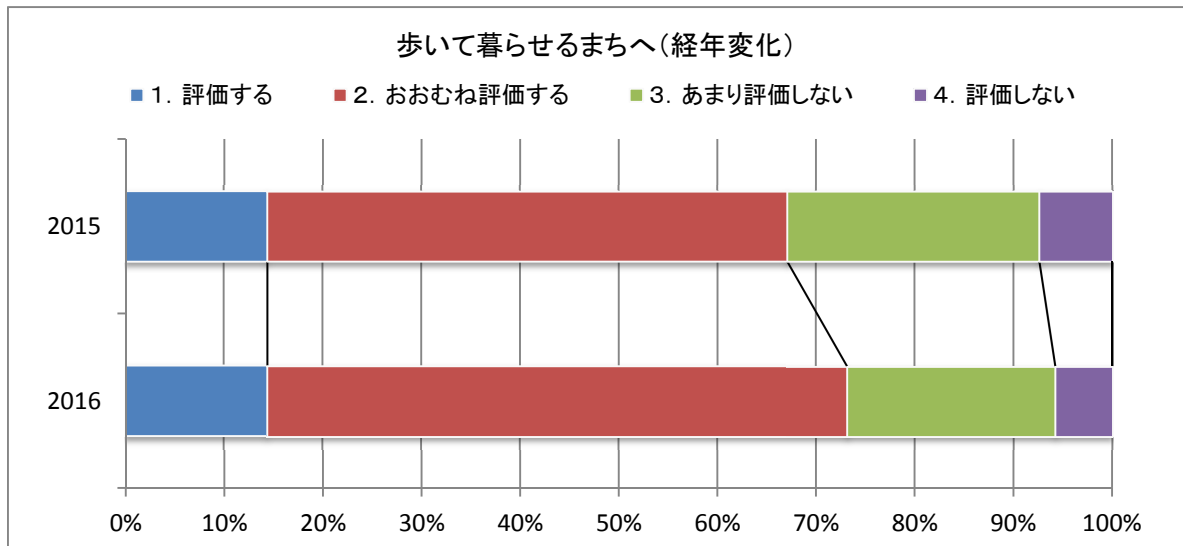
イ 歩いて暮らせるまちへ

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	43	14.4
2. おおむね評価する	175	58.7
3. あまり評価しない	63	21.1
4. 評価しない	17	5.7
合計	298	100.0

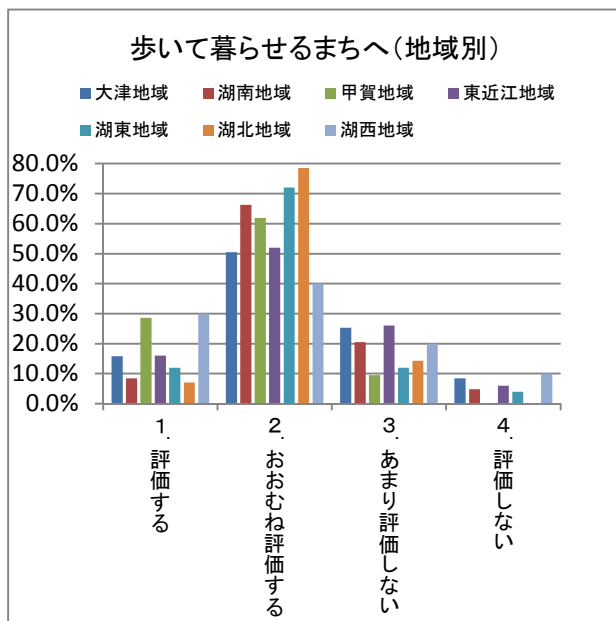
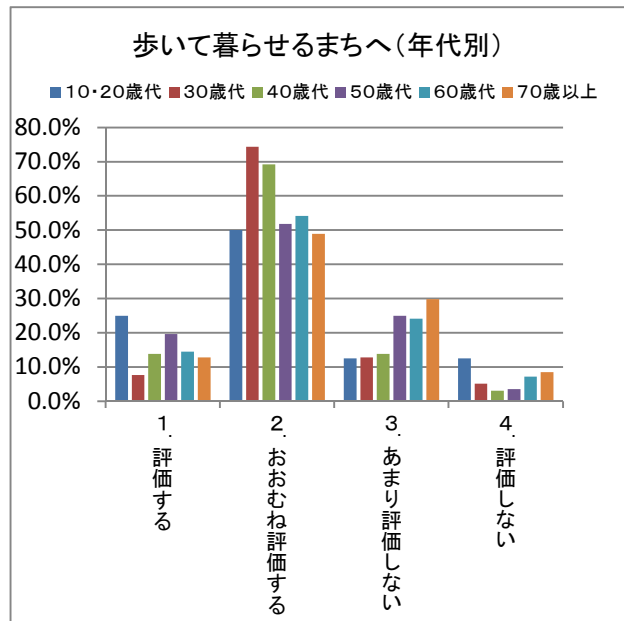
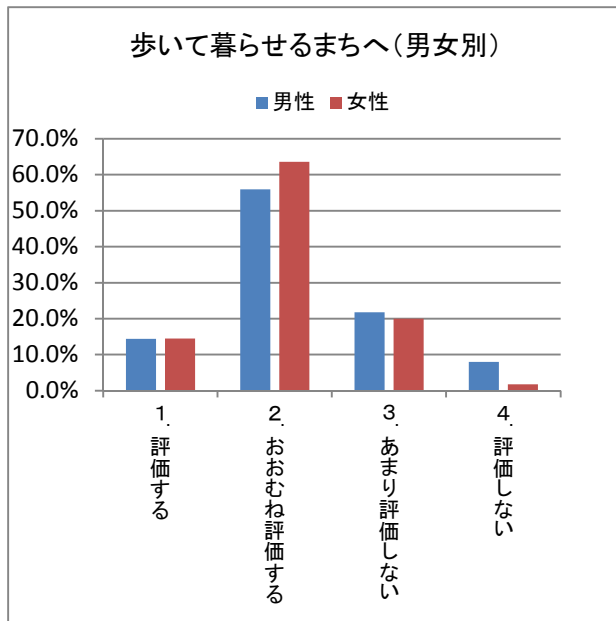


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・「ビワイチ」の環境整備は「環境県」としての滋賀を発信する意義がある。
- ・各駅のバリアフリーの取り組み、バスロケーションの取り組み等充分評価出来る。
- ・高齢者の足を今後とも考えて欲しい。不便なので高齢になっても車を手放せない。
- ・もっとコミュニティバスの充実等取り組んでもらいたい。
- ・バスからLRTへの移行などLRT化の推進不足。
- ・公共交通機関の利用について取り組み（歩いて暮らせる）強化をお願いします。



【クロス集計結果】

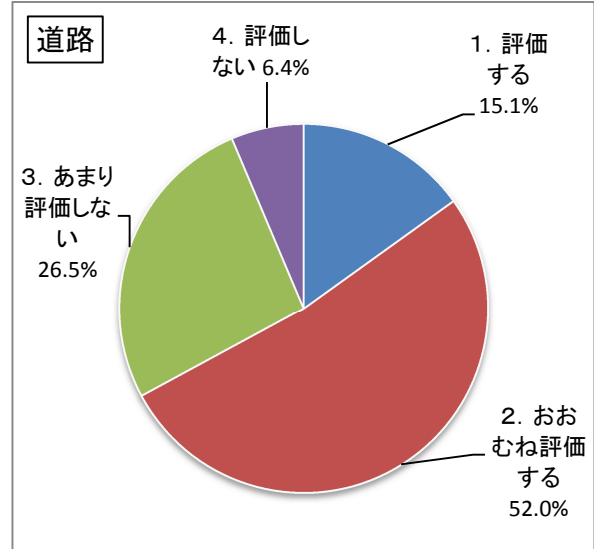


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、73.1%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く78.1%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、40歳代で83.0%、最も低かったのは、70歳以上で61.7%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で90.5%、最も低かったのは、大津地域で66.3%だった。

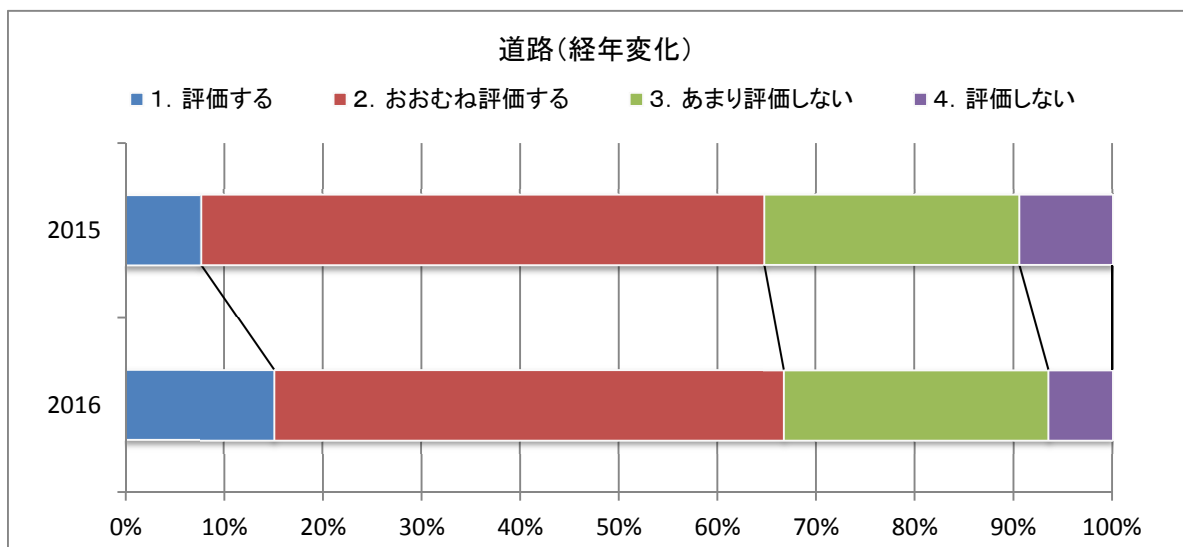
ウ 道路

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	45	15.1
2. おおむね評価する	155	52.0
3. あまり評価しない	79	26.5
4. 評価しない	19	6.4
合計	298	100.0

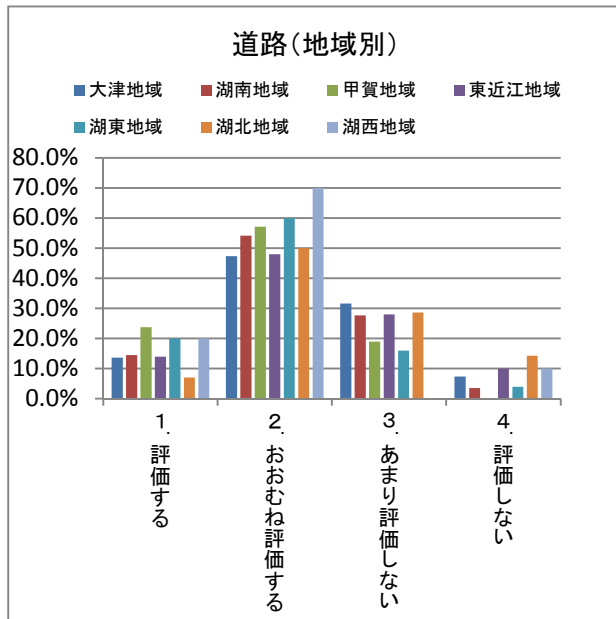
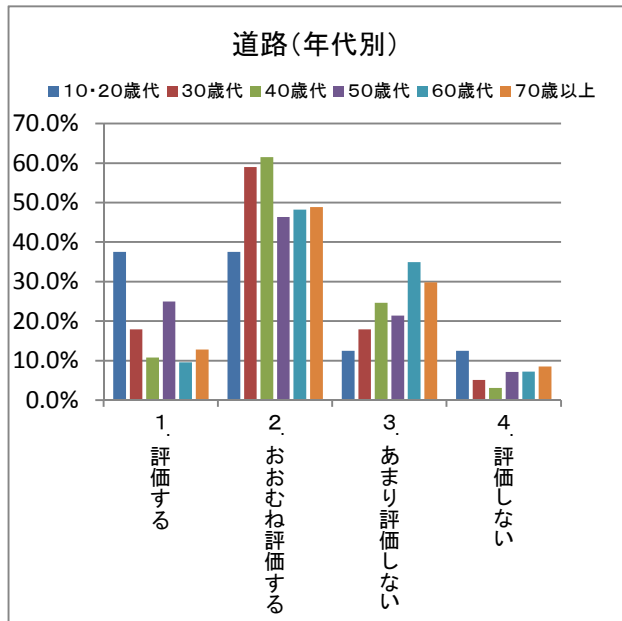
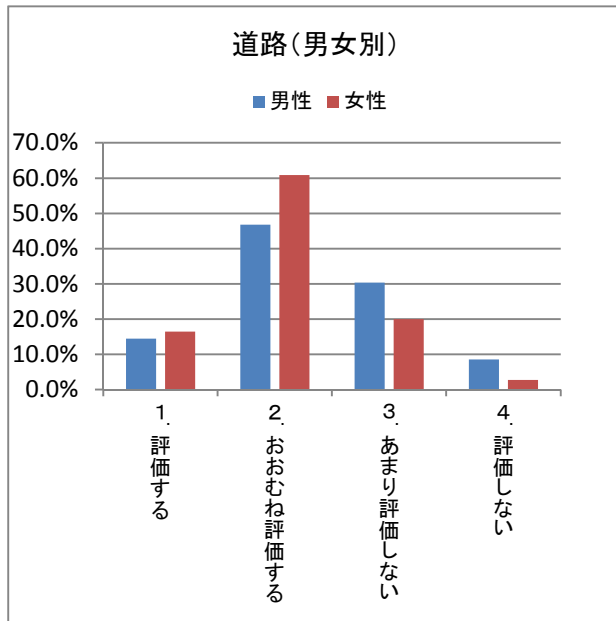


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・高速道路でのスマートインターの取り組みは積極的であり、観光面、地域活性化の原動力になると思う。
- ・国道1号線のバイパスができ、便利になった。
- ・高速道路周辺の整備が優先している感が否めない。
- ・ビワイチ関連の環境整備が少しずつできつつあるのは評価したい。自転車道の整備等まだまだ発展途上であるので今後も期待したい。
- ・自転車と歩行者が安全に走れない道路が多い。
- ・生活道路の渋滞が多いので、困っている。



【クロス集計結果】

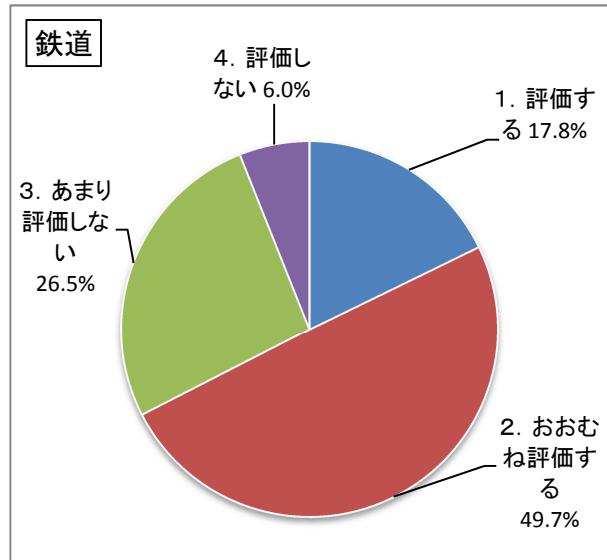


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、67.1%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く77.3%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は10～50歳代までは70%を超え、30歳代が76.9%と最も高かったのに対し、60歳代で57.8%、70歳以上で61.7%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖西地域で90.0%、最も低かったのは、湖北地域で57.1%だった。

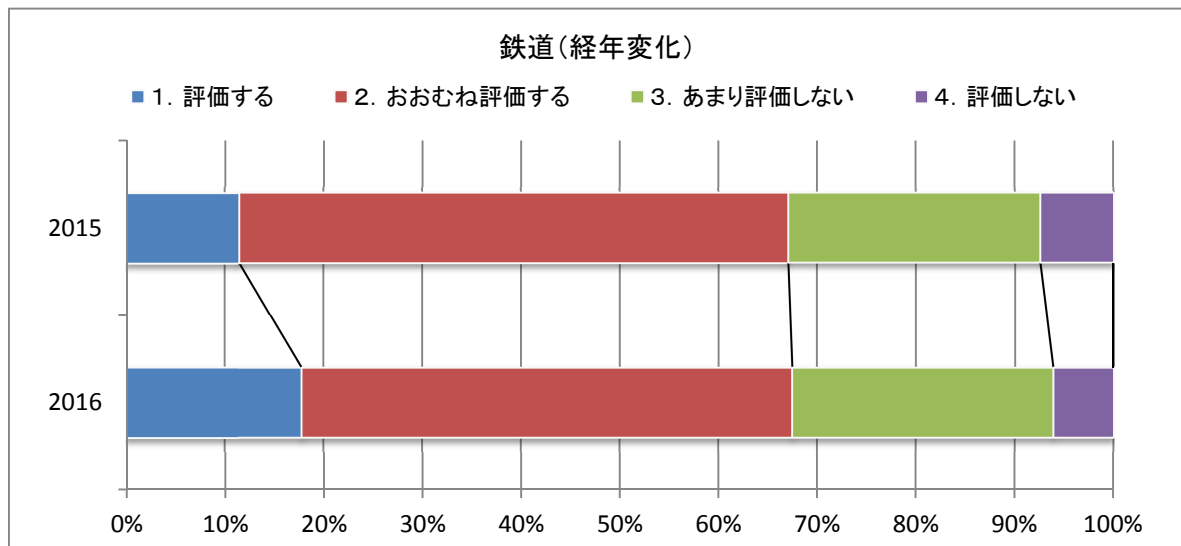
エ 鉄道

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	53	17.8
2. おおむね評価する	148	49.7
3. あまり評価しない	79	26.5
4. 評価しない	18	6.0
合計	298	100.0

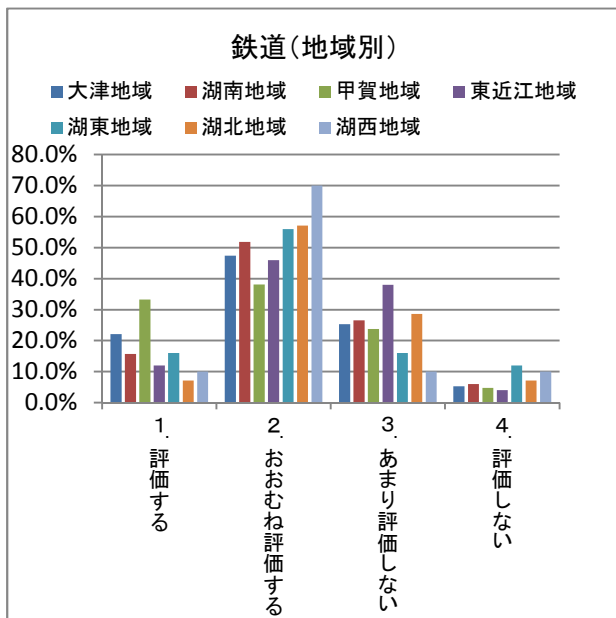
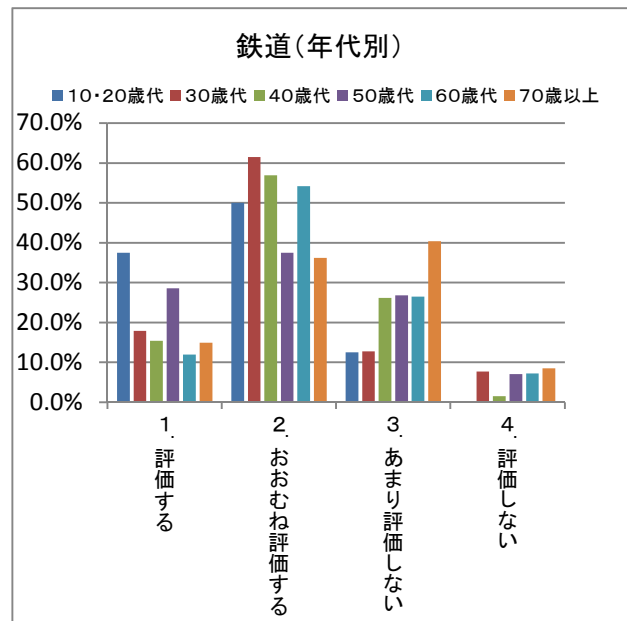
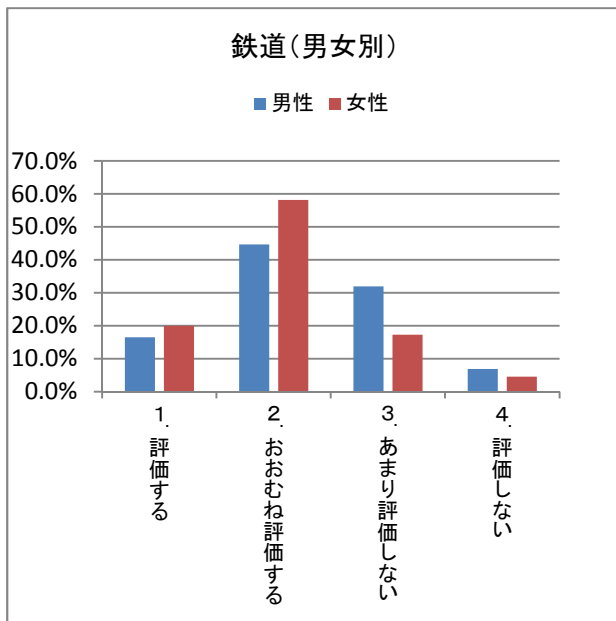


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・湖西線の暴風対策、近江鉄道の利用促進につながる取り組みは素晴らしいと思う。
- ・草津線の複線化、北陸新幹線の米原ルートの実現を期待している。
- ・平成 25 年 9 月に発生した台風 18 号の被災により列車運行を休止していた信楽高原鐵道の全面復旧は、素晴らしい。
- ・県内有数の乗降客の多い駅にエスカレーターがない。県庁所在地の駅にエスカレーターが無い。乗客の多い駅には乗客を守る装置の設置が必要である。
- ・草津線、北陸線、無人駅における無賃乗車対策を県をあげて実施すべき。正当な対価を払っている人に失礼。JR 出身の知事だからこそ取り組みを。



【クロス集計結果】

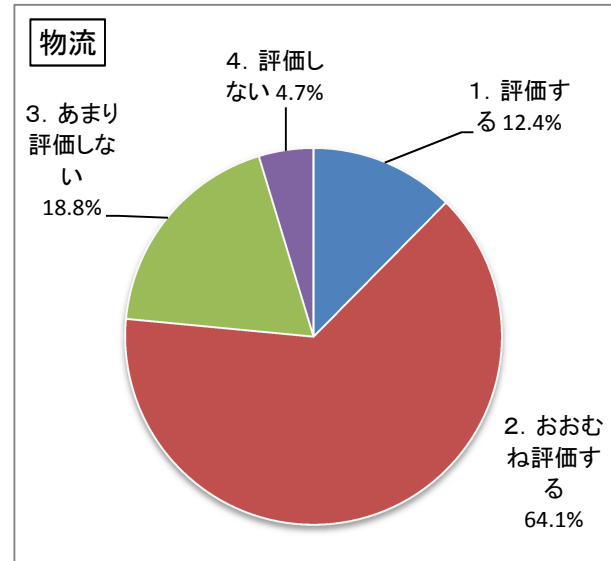


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、67.5%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く78.2%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は10・20歳代が最も高く87.5%で、年代が上がるほどに割合が低下する傾向にあり、70歳以上で51.1%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖西地域で80.0%、最も低かったのは、東近江地域で58.0%だった。

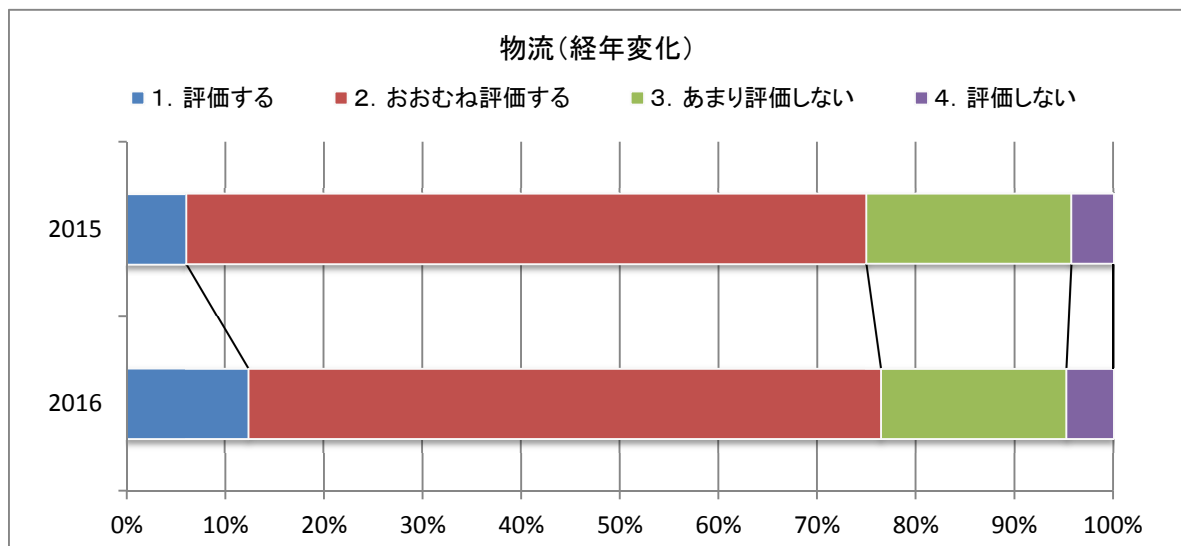
オ 物流

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	37	12.4
2. おおむね評価する	191	64.1
3. あまり評価しない	56	18.8
4. 評価しない	14	4.7
合計	298	100.0

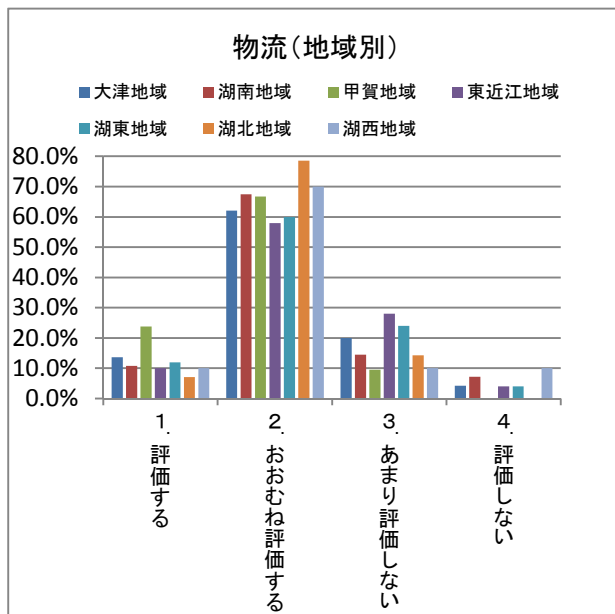
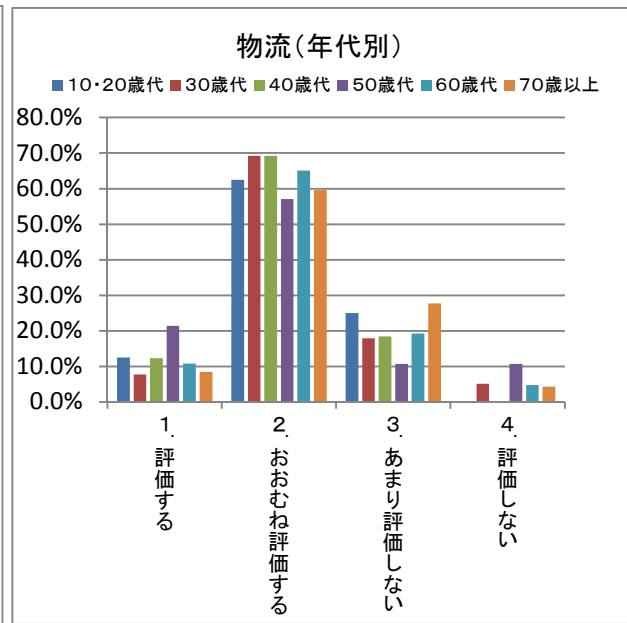
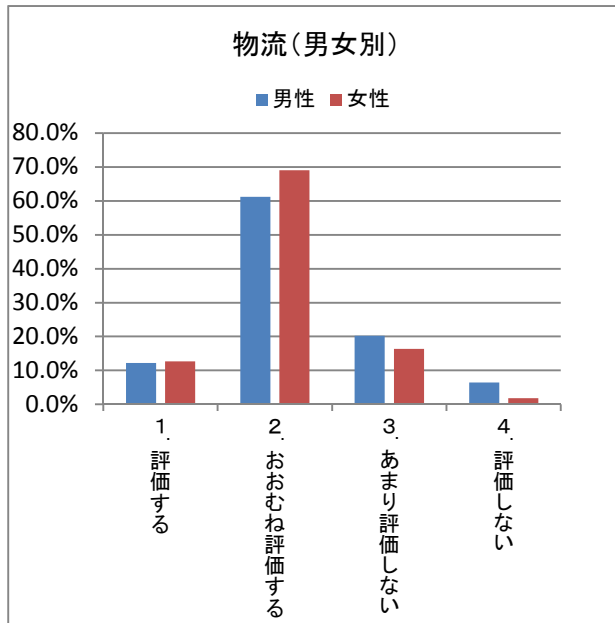


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 物流の基本は道路政策、まだまだこれから整備に努力して欲しい。
- ・ 生産者から消費者へ一刻も早くの視点で、取り組みスピードを速める必要があるのでは。
- ・ 研究段階を早く脱して欲しい。JR 貨物の基地を誘致する必要がある。
- ・ 具体的な内容があまりないように思える。



【クロス集計結果】

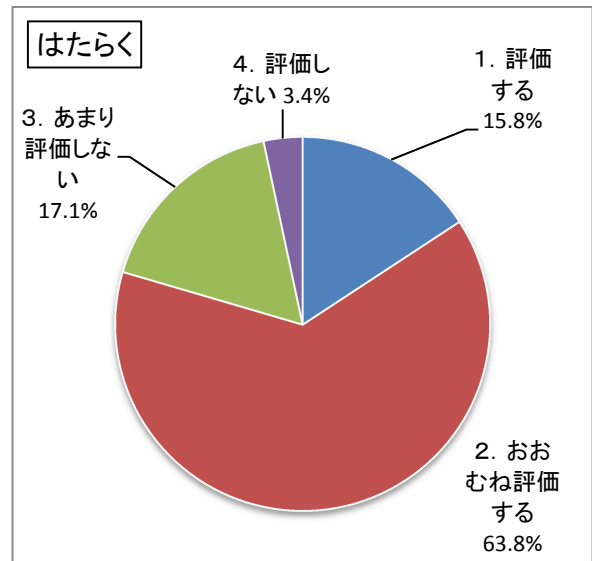


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、76.5%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く81.8%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、40歳代で81.5%、最も低かったのは、70歳以上で68.1%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で90.5%、最も低かったのは、東近江地域で68.0%だった。「評価する」との回答でも甲賀地域が最も高く23.8%だった。

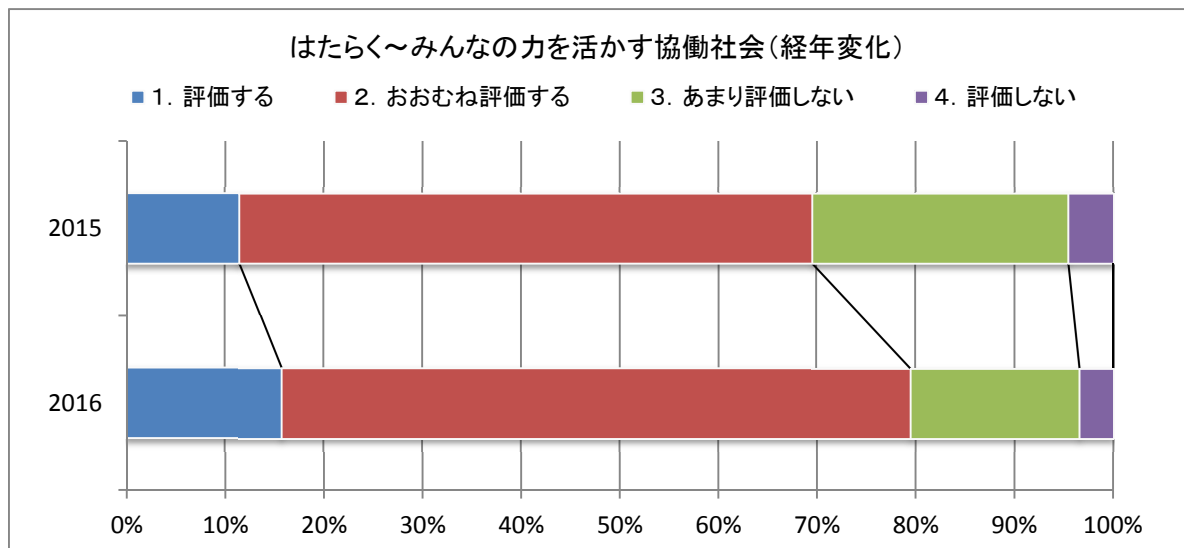
(3)「はたらく～みんなの力を活かす協働社会」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	47	15.8
2. おおむね評価する	190	63.8
3. あまり評価しない	51	17.1
4. 評価しない	10	3.4
合計	298	100.0

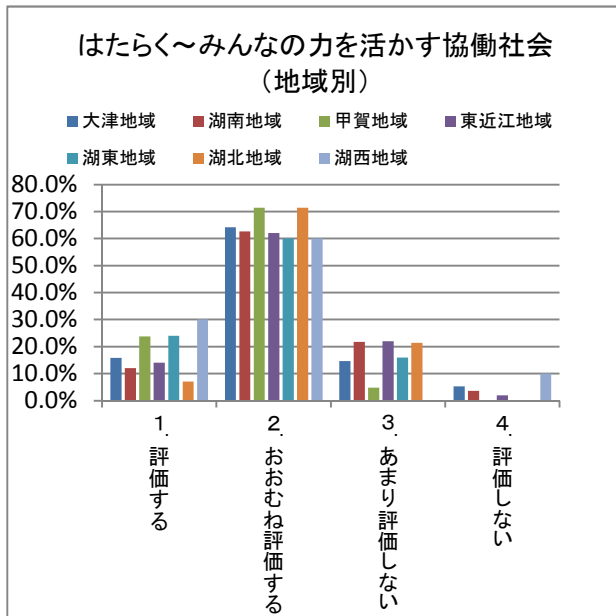
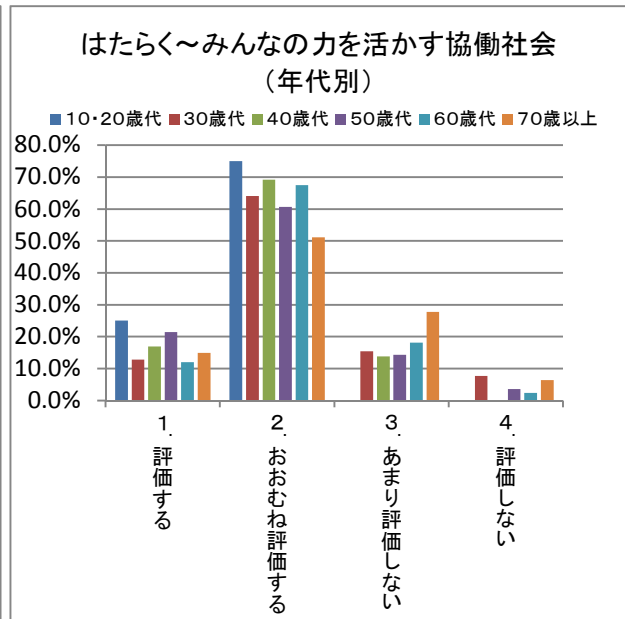
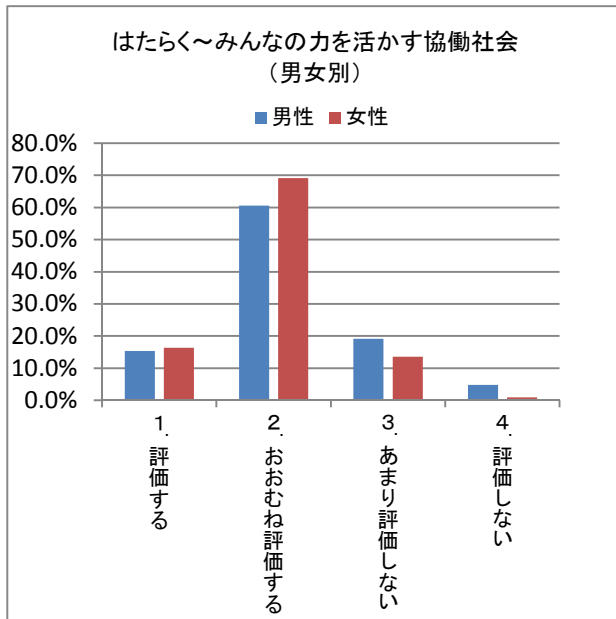


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 体験学習は大切なことです。いろいろな仕事に興味を持つのも大事です。
- ・ 具体的に分かりやすい取組みをし、どの世代にも知ってもらい行き渡らせてほしい。
- ・ シニアジョブステーション歓迎します。
- ・ 女性活躍の支援や、参画社会を少しずつ感じます。
- ・ 子育てで退職した母親などの職業訓練施設や講座を充実していただきたい。



【クロス集計結果】



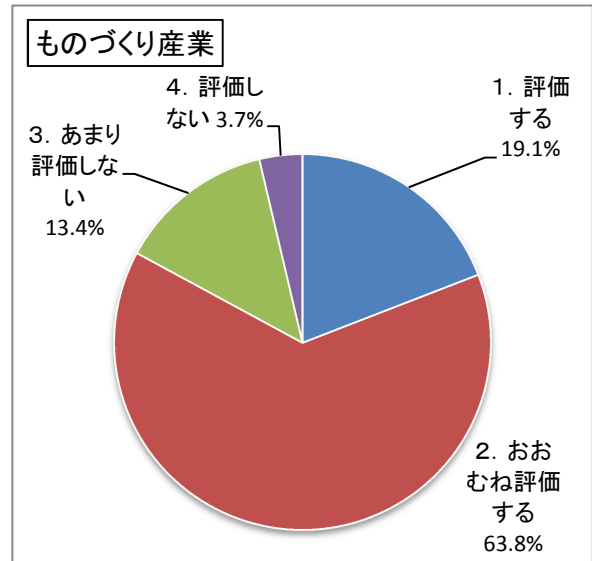
【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、79.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く85.5%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、70歳以上を除く全年代で75%を超えた。「評価する」との回答では、「評価する」との回答では、10・20歳代および50歳代が高く、それぞれ25.0%および、21.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で95.2%、最も低かったのは、湖南地域で74.7%だった。

(4)「つくる～ものづくりで元気な滋賀を！」

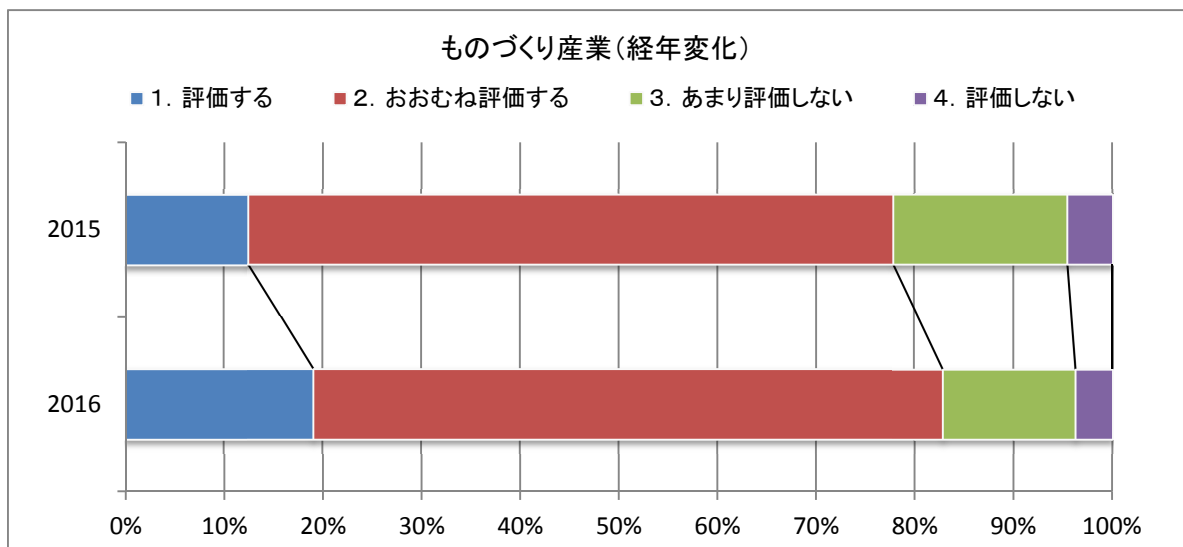
ア ものづくり産業

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	57	19.1
2. おおむね評価する	190	63.8
3. あまり評価しない	40	13.4
4. 評価しない	11	3.7
合計	298	100.0

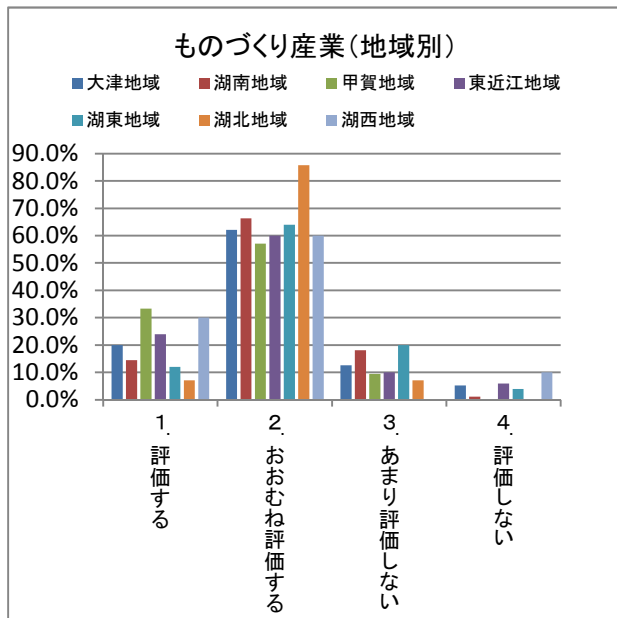
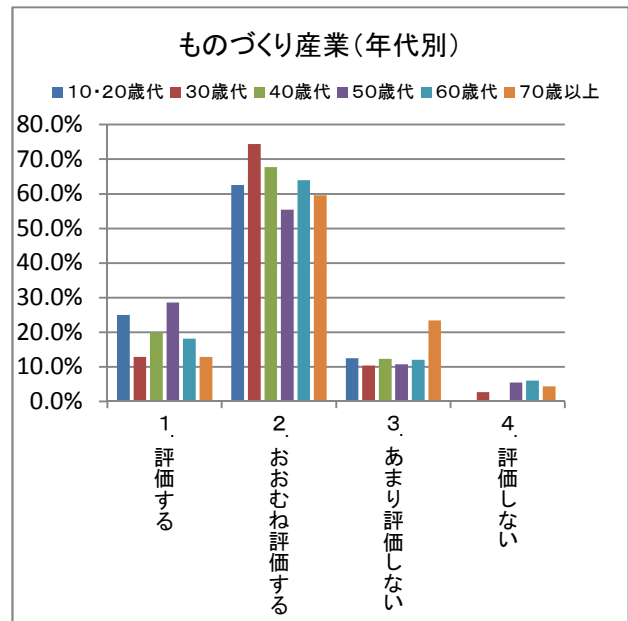
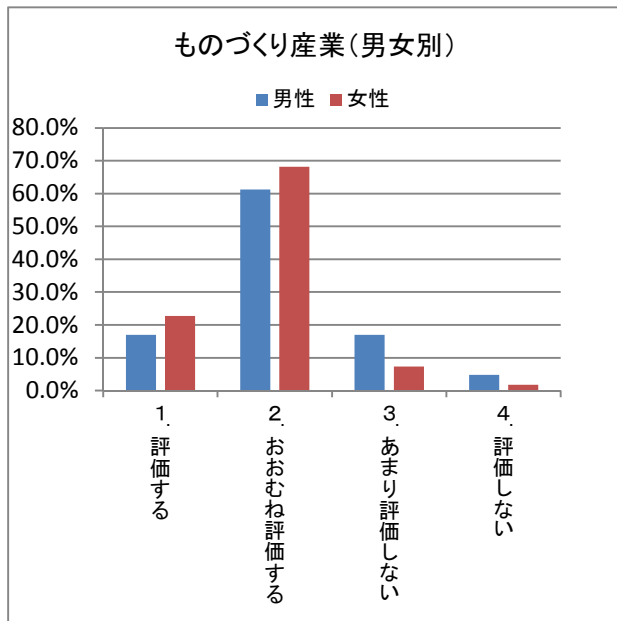


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・ 地場産業の発展、企業誘致などによる雇用促進、人材育成が期待できる。
- ・ 人口の減少と高齢化に伴い、技術の伝承が急務です。なるべく付加価値の高い産業の育成が大事です。
- ・ 県内の大学を活用する産学官の協働を考えてみてはいかがでしょうか。
- ・ 難しいがますますの企業誘致を進めてもらいたい。
- ・ 地域経済循環促進のためのビジネスモデル創出をもっと推進してください。
- ・ 信楽焼等たくさんの魅力的な滋賀の伝統産業をもっと国内的にも海外にも宣伝してほしい。



【クロス集計結果】

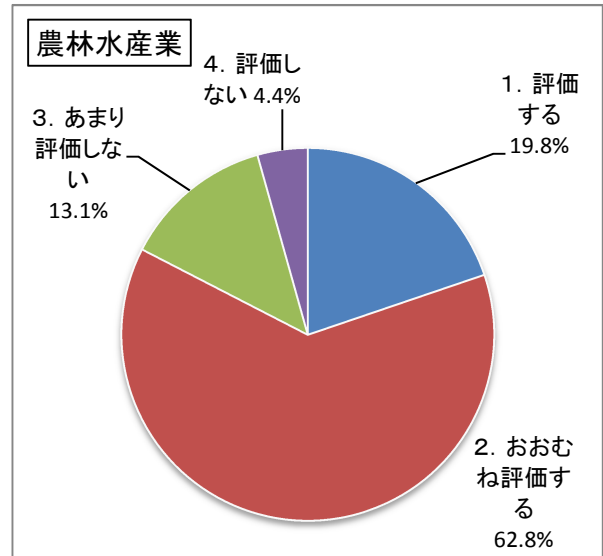


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、82.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く90.9%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、40歳代で87.7%、最も低かったのは、70歳以上で72.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖北地域で92.8%、最も低かったのは、湖東地域で76.0%だった。甲賀地域および湖北地域では「評価しない」との回答がゼロだった。

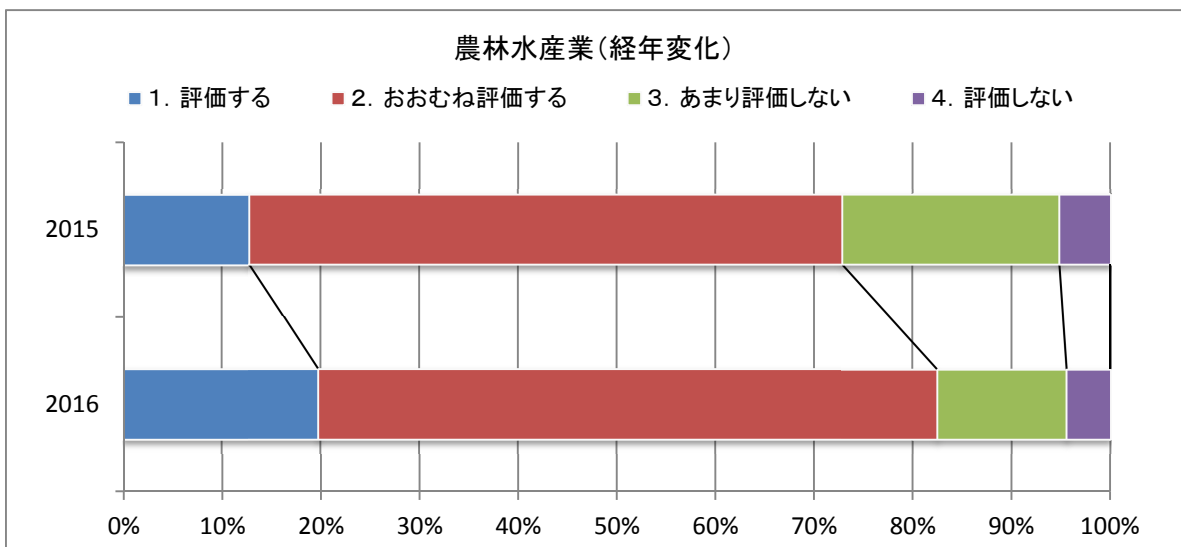
イ 農林水産業

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	59	19.8
2. おおむね評価する	187	62.8
3. あまり評価しない	39	13.1
4. 評価しない	13	4.4
合計	298	100.0

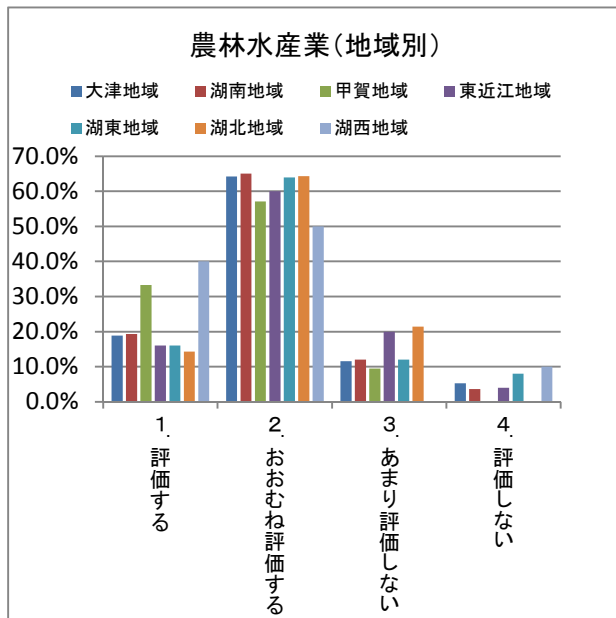
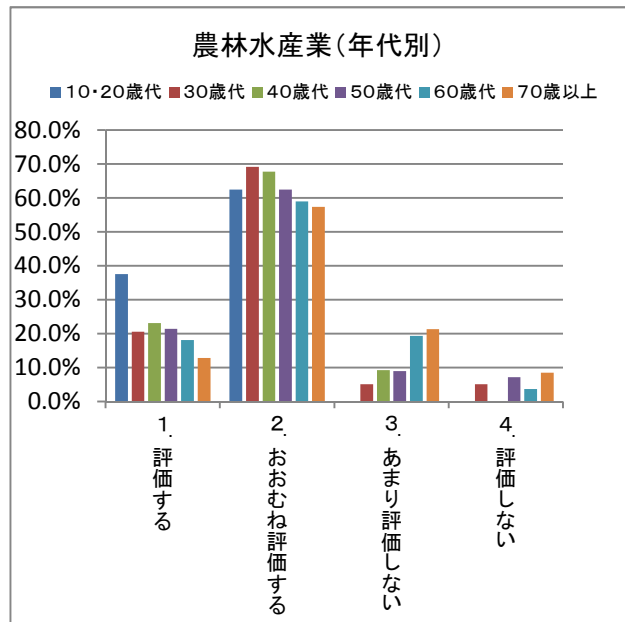
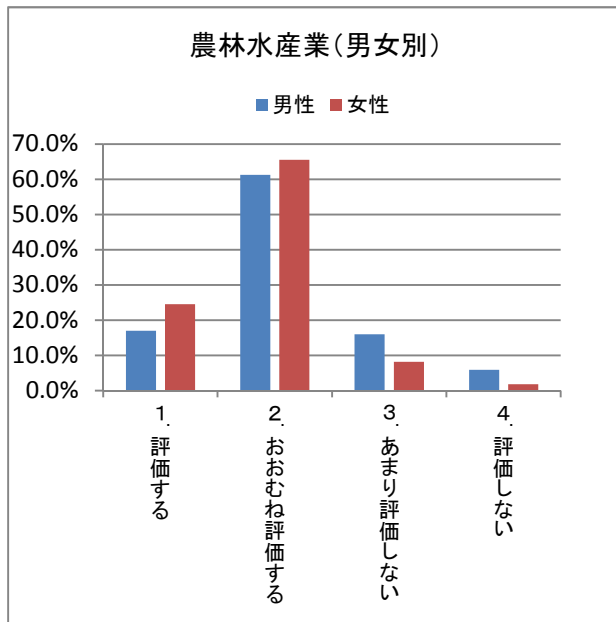


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・地産地消の推進、積極的なPRを評価する。
- ・みずかがみの開発等十分に滋賀の得意分野を遺憾なく発揮していると思う。
- ・みずかがみ等、品種改良を重ねて滋賀独自の農産物をアピールできたのはよかった。
- ・これからは質の良いものが売れる時代です。みずかがみのブランドを大切にしたいものです。
- ・滋賀は食の宝庫でもあるので、観光資源として活用を図っていただきたい。
- ・琵琶湖の水産業をもっと売りにできるのではないかと思う、そのための外来生物対策強化が必要。
- ・完全無農薬の作物を推進するべき。



【クロス集計結果】

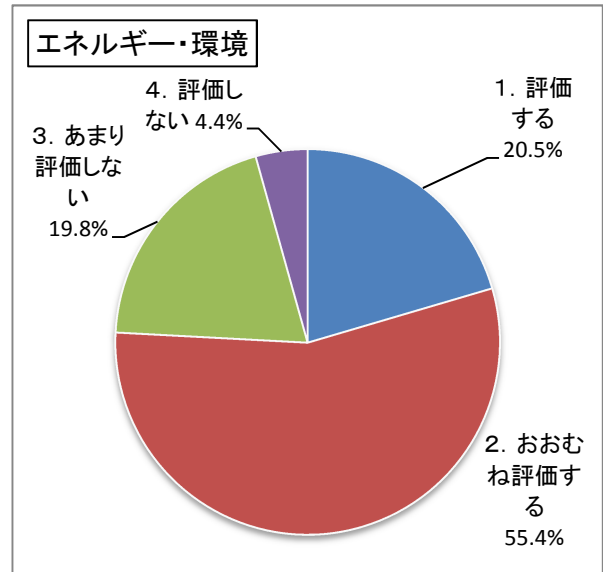


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、82.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く90.0%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は10～50歳代までは80%を超えていたが、60歳代で77.1%、70歳以上で70.2%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で90.4%、最も低かったのは、東近江地域で76.0%だった。

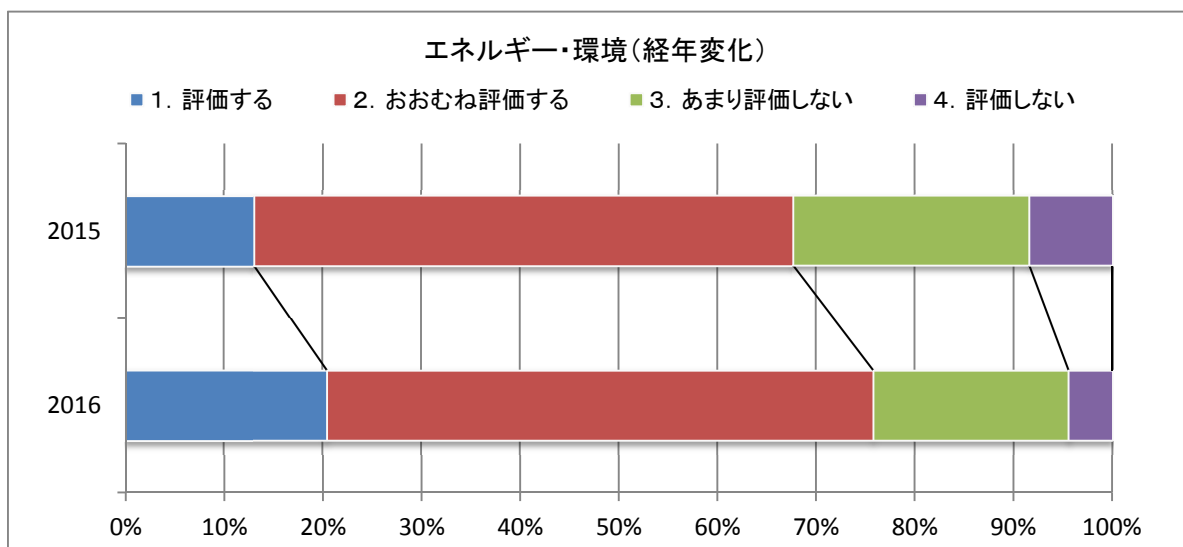
ウ エネルギー・環境

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	61	20.5
2. おおむね評価する	165	55.4
3. あまり評価しない	59	19.8
4. 評価しない	13	4.4
合計	298	100.0

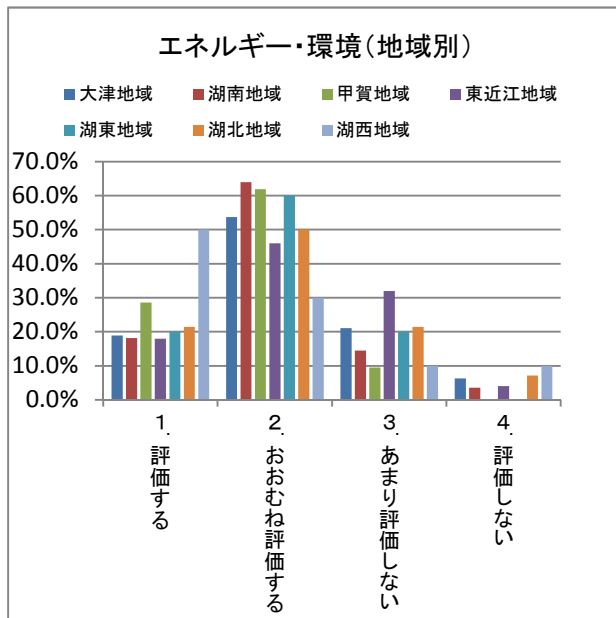
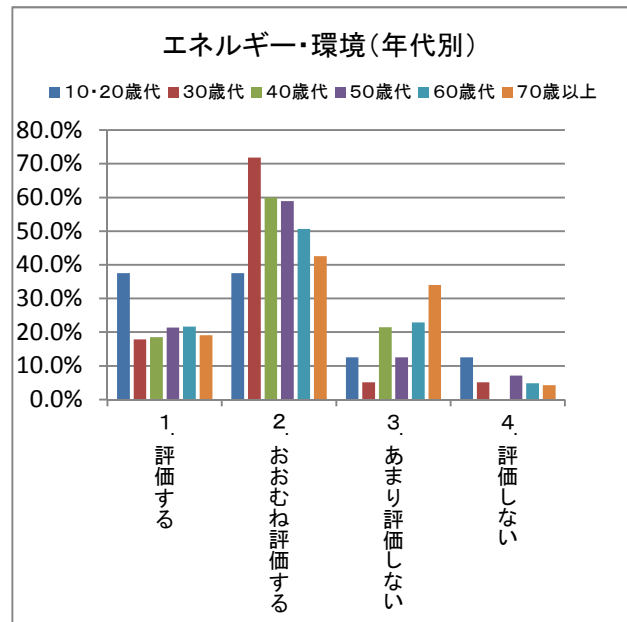
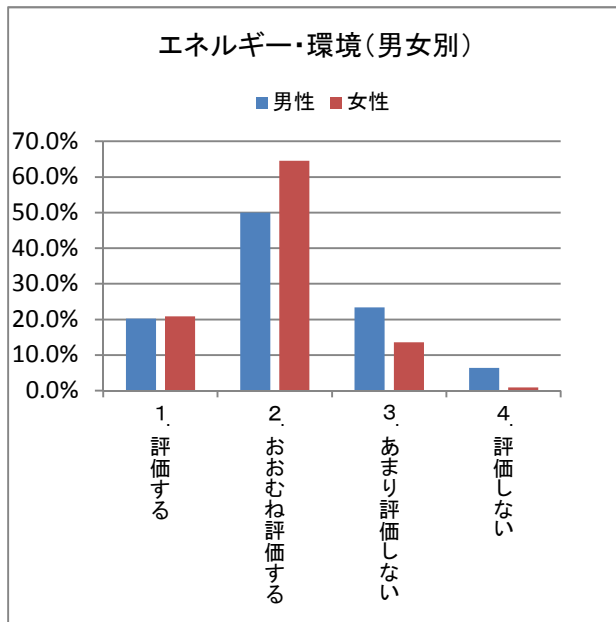


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・しがエネルギービジョンを実現してください。
- ・代替エネルギーについて、考えておられる点は評価します。
- ・もっと琵琶湖を利用した省エネ対策が出来ないものか。
- ・太陽光発電の電気が貯められる研究を進めるべきです。
- ・もっと自然エネルギーに力点をおいてほしい。
- ・MIRAI の公用車利用が施策とは思えない。電力調達変更による経費削減を成果としているが、県が自家発電すれば、長期的にもっと経費の削減効果が大きくなると思う。



【クロス集計結果】

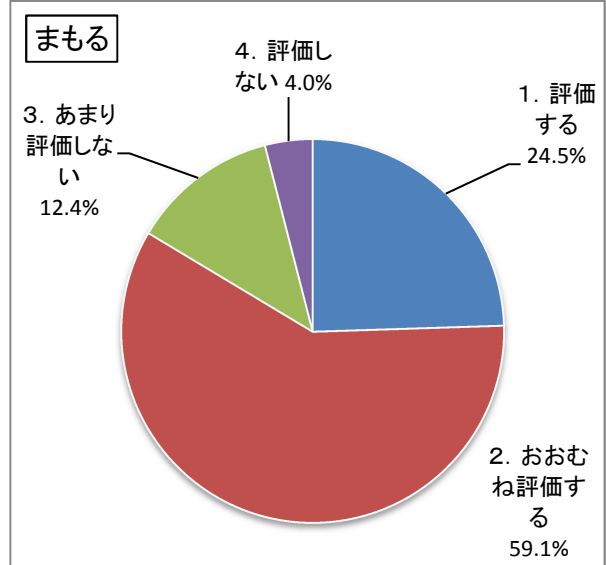


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、75.9%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く85.4%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30歳代で89.7%、最も低かったのは、70歳以上で61.7%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、甲賀地域で90.5%、最も低かったのは、東近江地域で64.0%だった。

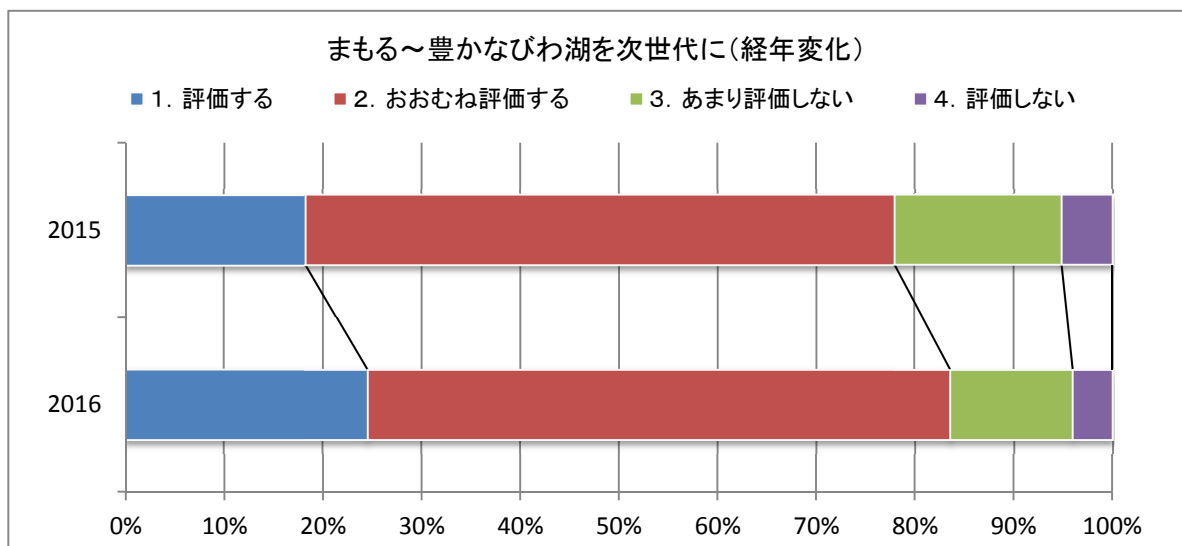
(5)「まもる～豊かなびわ湖を次世代に」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	73	24.5
2. おおむね評価する	176	59.1
3. あまり評価しない	37	12.4
4. 評価しない	12	4.0
合計	298	100.0

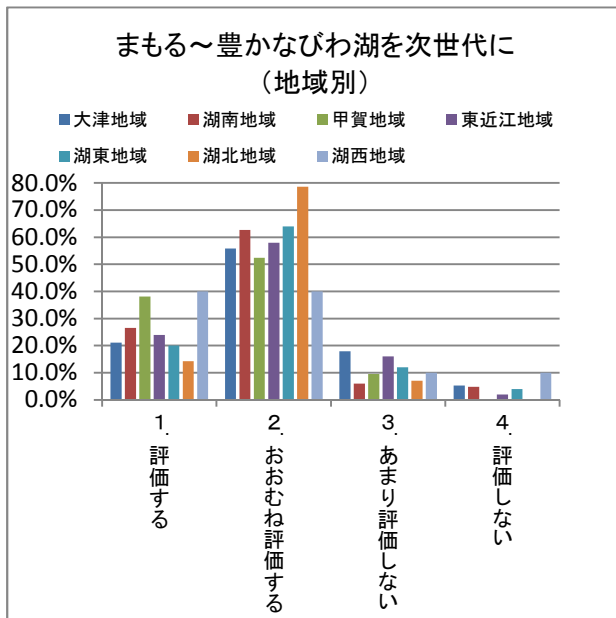
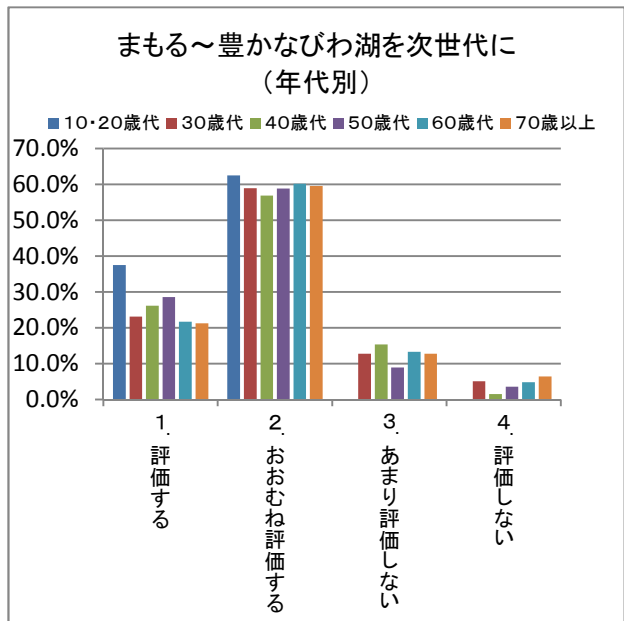
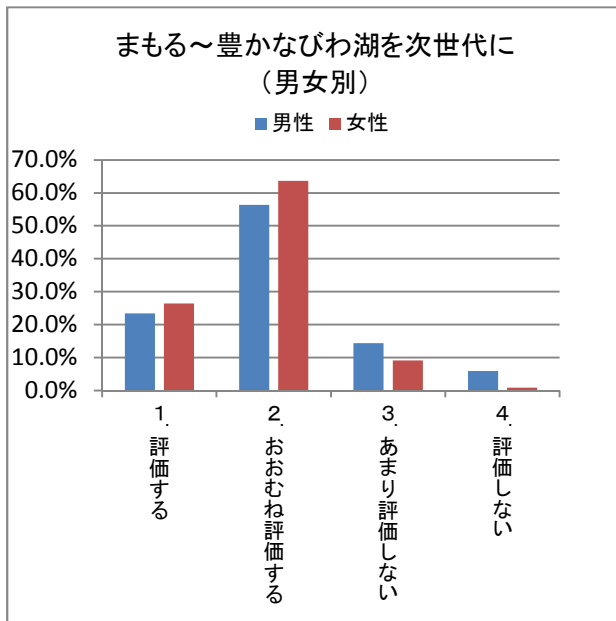


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・琵琶湖に育てられている教育をもっと推進してください、宜しくお願いいたします。
- ・生態系を守りながら人との共存実現の為に環境保全や滋賀ならではの取り組みを頑張っておられるのは日々のニュースなどで感じます。
- ・もっと漁師さんの声を政策に反映させるべき。現場の声が届いていない。政策に反映されていない。
- ・外来生物対策もっともっと必要。
- ・近畿圏の問題としての取り組みを希望。



【クロス集計結果】

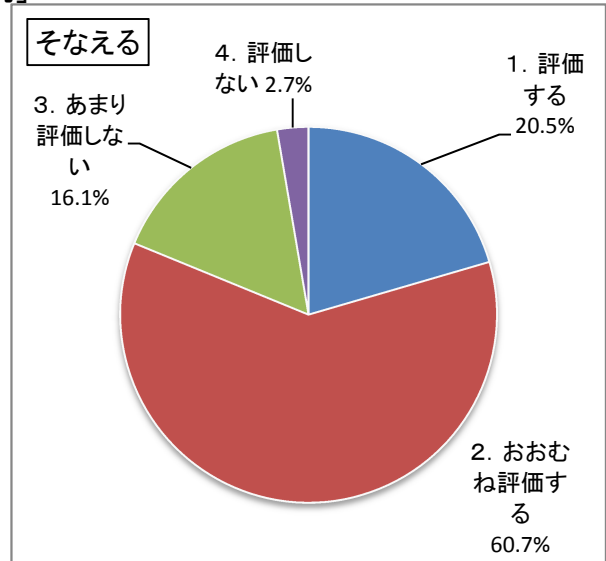


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、83.6%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く90.0%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合はすべての年代で80%を超えており、最も低かった70歳以上で80.9%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖北地域で92.9%、最も低かったのは、大津地域で76.9%だった。

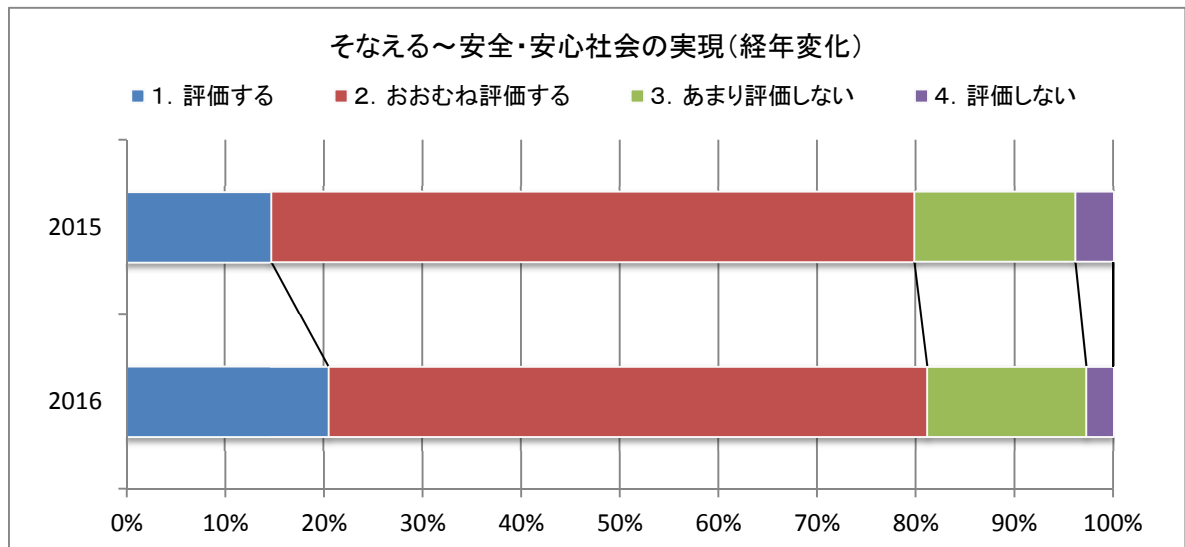
(6)「そなえる～安全・安心社会の実現」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	61	20.5
2. おおむね評価する	181	60.7
3. あまり評価しない	48	16.1
4. 評価しない	8	2.7
合計	298	100.0

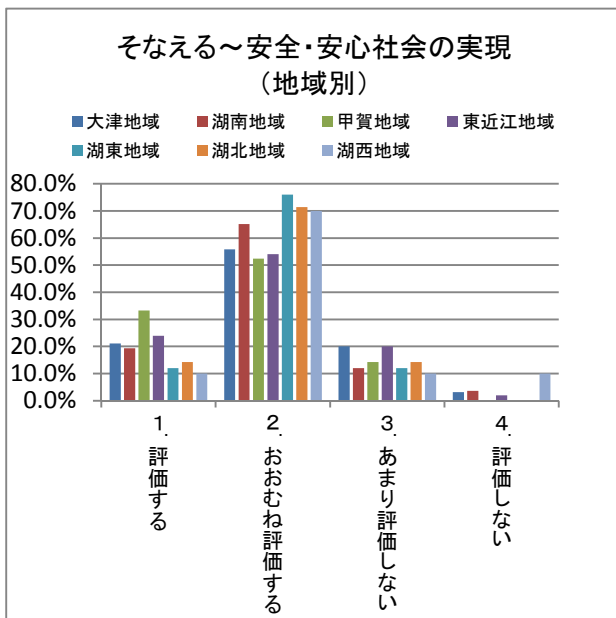
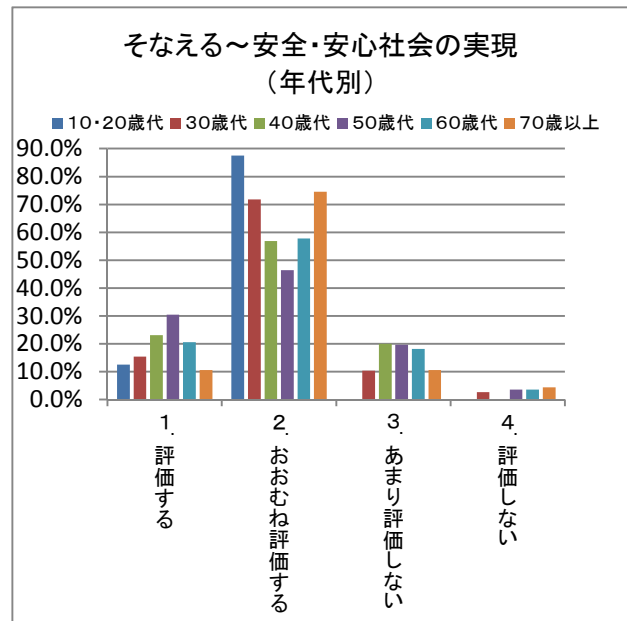
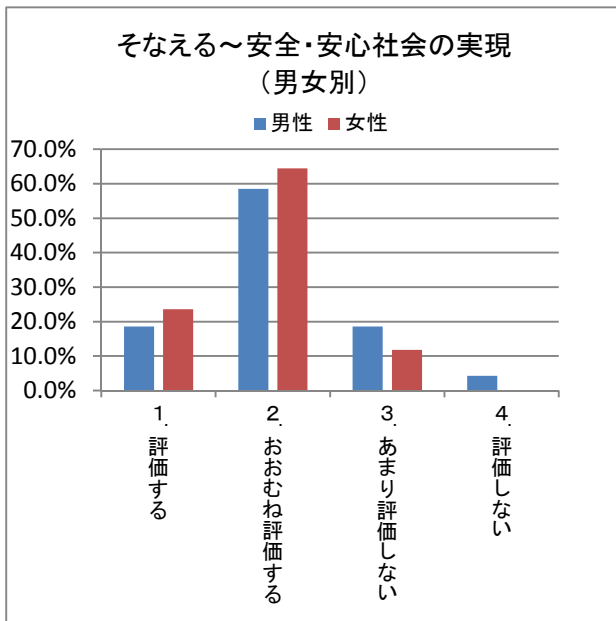


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・水害の備えはまずまずでしょう。でも地震と原発には対処しきれないのでは。
- ・滋賀県は地震、水害などの被害に遭っていないが、県民の防災意識教育が必要。
- ・特殊詐欺などのニュースが多く、不安が増している。



【クロス集計結果】

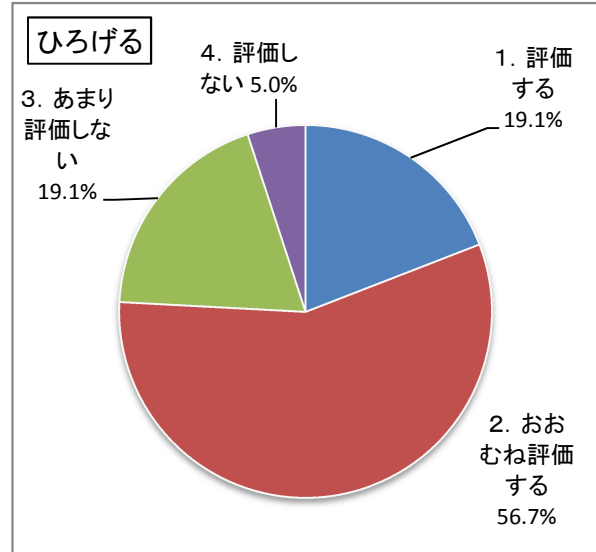


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、81.2%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く88.1%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は10～40歳代および70歳以上で80%を超えたのに対し、50歳代は76.8%、60歳代で78.3%であった。ただし「評価する」との回答では50歳代が最も高く30.4%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖東地域で88.0%、最も低かったのは、大津地域で76.9%だった。

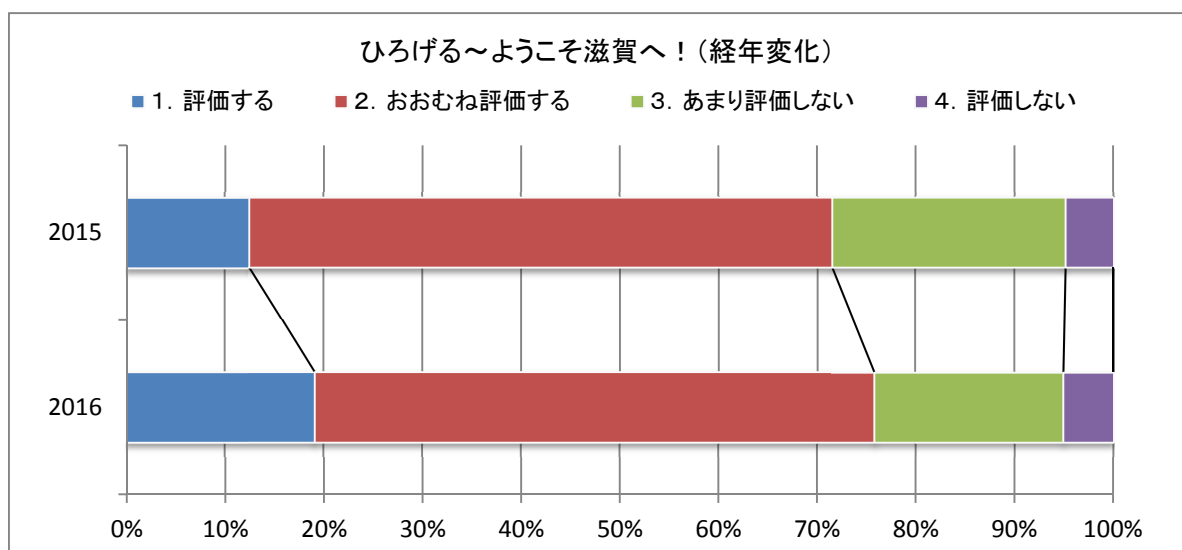
(7)「ひろげる～ようこそ滋賀へ！」

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	57	19.1
2. おおむね評価する	169	56.7
3. あまり評価しない	57	19.1
4. 評価しない	15	5.0
合計	298	100.0

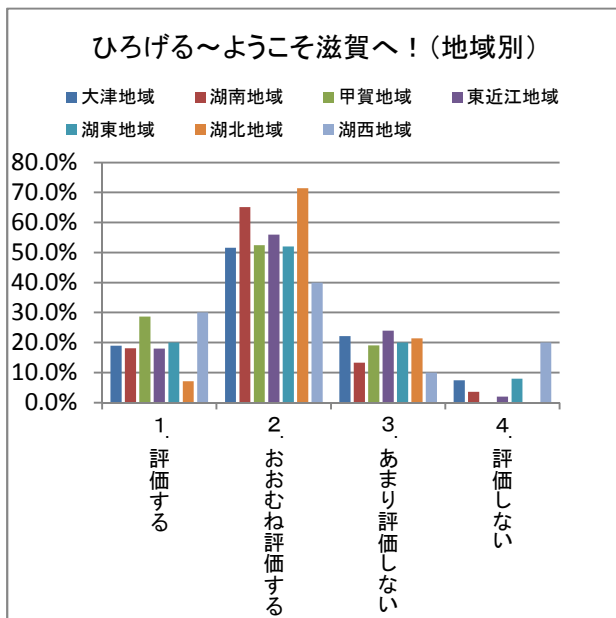
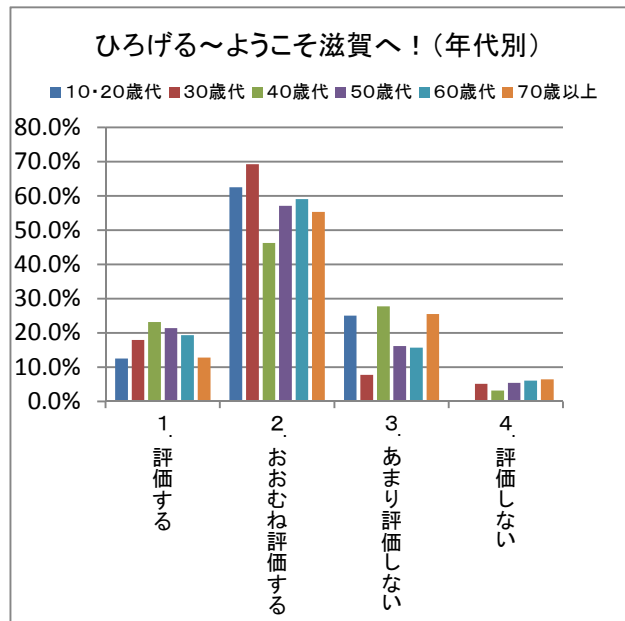
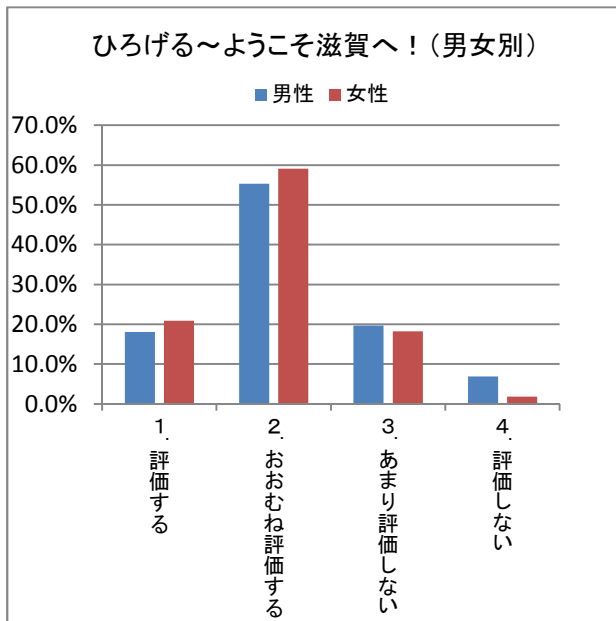


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・琵琶湖の景観は素晴らしい観光資源だと思うので、アピールすれば効果があると思う。
- ・観光資源のびわ湖。ビワイチをワールドなものに。セーリングや湖面での体験型のスポーツの広まりについて努力するべきです。
- ・石田三成のPRは、職場でも大変受けがよく、話題性に富んでいたと思います。
- ・ビワイチのサイクルツーリズムは現状では不十分です。もっと整備すれば確実に日本全国からやってきます。
- ・びわ湖疎水観光を着実に進め、観光客増加を図ってほしい。
- ・大都市での情報発信をお願いします。関東では、滋賀がどこにあるのか知らない人がたくさんいます。



【クロス集計結果】

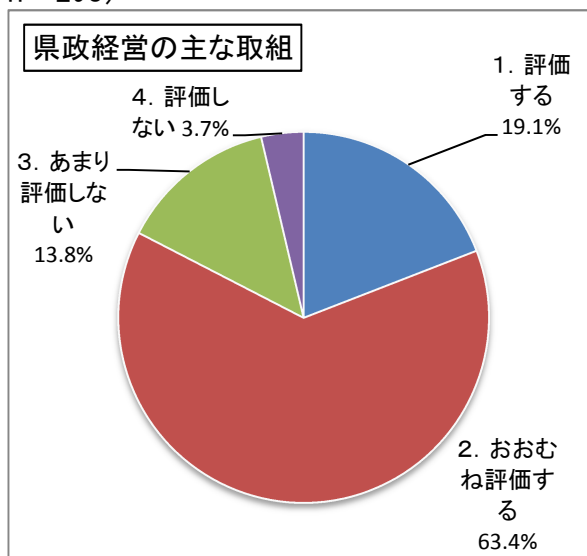


【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、75.8%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く80.0%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、30歳代で87.1%、最も低かったのは、70歳以上で68.1%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖南地域で83.2%、最も低かったのは、湖西地域で70.0%だった。

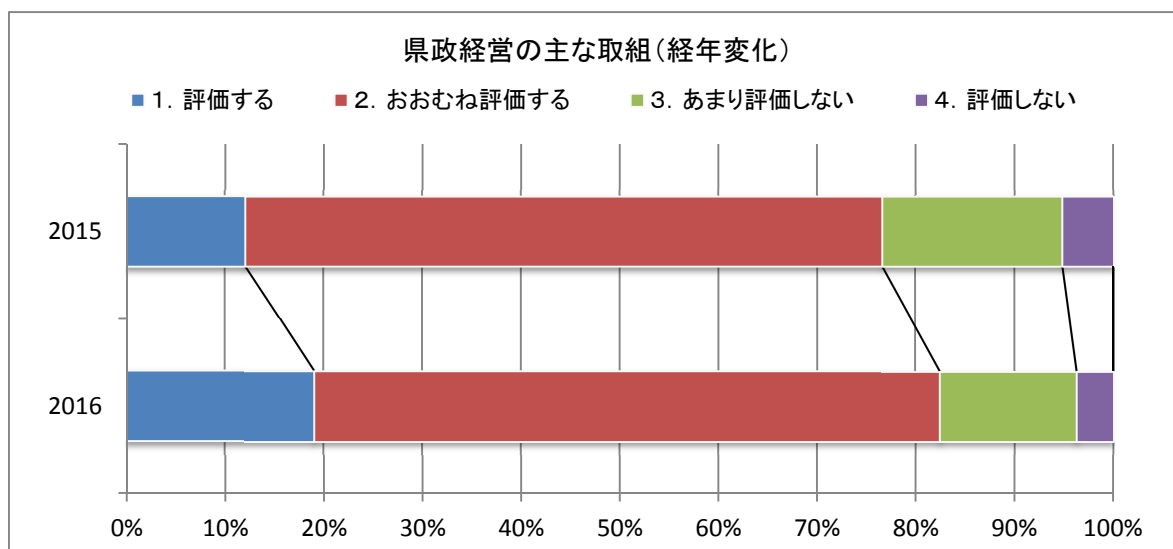
問7 「県政経営の主な取組」として取り組んだ内容について、どう評価されますか。(回答チェックは1つだけ n=298)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 評価する	57	19.1
2. おおむね評価する	189	63.4
3. あまり評価しない	41	13.8
4. 評価しない	11	3.7
合計	298	100.0

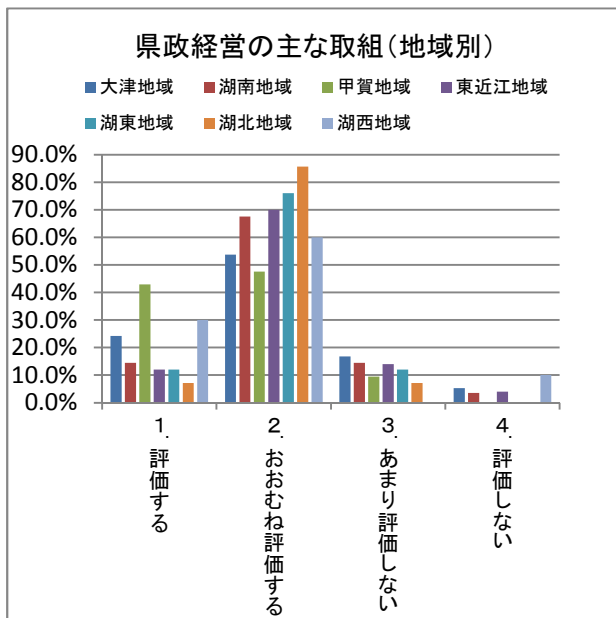
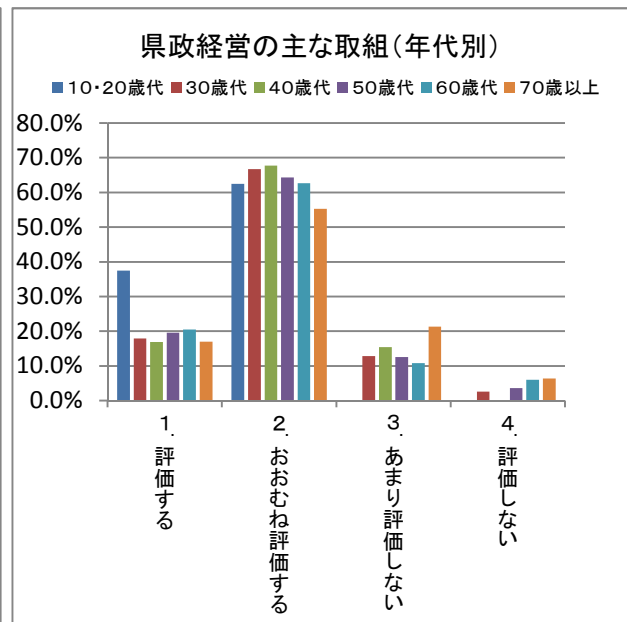
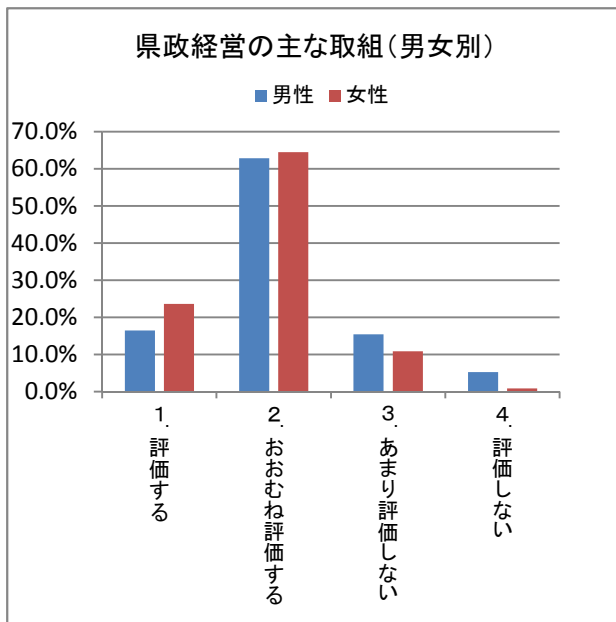


評価のポイントとなった取組や、この分野への意見（抜粋）

- ・非常に多岐にわたる政策で、一見総花的にも感じましたが、内容が充実しており、かつ適格な組織作りが行われているようで、心強く感じました。
- ・効果的な予算編成に取り組んでおられますが、無駄を省いた点などを具体的にPRして欲しい。



【クロス集計結果】



【結果分析】

- 「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は、82.5%だった。
- 男女別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は女性のほうが高く88.1%だった。
- 年代別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合は年代が上がるほどに低下しており、10～60歳代では80%を超えていたが、70歳以上では72.3%だった。
- 地域別では、「評価する」「おおむね評価する」と回答された割合が最も高かったのは、湖北地域で92.8%、最も低かったのは、大津地域で77.9%だった。

問8 その他、知事就任後2年間の取組について感じることや、今後取り組んでほしいことについて、ご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・滋賀県は、どうしても車が交通手段のメインにならざるを得ない実情があるが、高齢化社会で高齢者が車を運転せずに活発に移動できるようなシステムを早急に検討してもらいたいと願っている。
- ・TPPは非常に大きな問題なので、県独自に真剣に調査、対策をしてほしい。
- ・滋賀の広報マンとして滋賀県の知名度が全国区になるような活躍を期待しています。
- ・地元滋賀レイクスターズを設備投資、PR等でバックアップして、強化し、県内の知名度アップと、県民が自慢できるチーム、サポーターの育成にさらに力をいれてほしいです。
- ・滋賀県は、県民一人当たりの警察官の人数が少なく、全国ワースト2位の負担率であり、更なる大幅増員を望むところです。
- ・既に仕事をしているのに保育所に入れず一時保育でやり繰りしている状況、仕事をしたい人は周りにもたくさんいるのに、求職中で保育所申請しても全く入れない状況です。保育所や小規模保育施設などの新設・増員、事業所内保育所などへの補助などいろいろと対応されているのは分かるのですが、まだまだ策が足りません。
- ・もっと滋賀県を広くアピールし、またするための目玉商品や取り組みを検討して頂きたいと思います。また、国体開催に向けての向こう数年でのインフラ整備などの取り組みを今後の任期でよろしく願います。
- ・小中学校の教育などすぐにでも力を入れられるものへの投資を望みます。人材だけの投資でかなり成果をあげると思います。それが人口増加へつながる事は確かです。
- ・公立小学校、中学校、高校のトイレ、エアコン、設備など老朽化への対策をお願いしたいです。子供が安心して学生生活をおくれる環境を作ってほしいです。
- ・滋賀スポーツ推進条例が定められたが、目の見える動きが感じられない。埼玉県のスポート振興のまちづくりや草津市の健幸都市づくり等市民全体で取り組む姿勢がほしい。
- ・琵琶湖の各マリーナに係留しているヨットを活用したクルージング体験イベントを行ってはいかがでしょうか。県外から沢山の人を呼べると思います。
- ・新幹線の米原ルートはもっと強力に進めてもらいたいと思います。経済界と県下の全自治体と共同体制で。
- ・びわ湖の外来魚類や外来植物の駆除にもっと大きな成果を上げて欲しいし、自然の景観や古い町並みの保存に今まで以上に力を入れて欲しいと思います。普通の成果を上げるべきことと、目覚ましい成果を上げるべきことを分けて、メリハリのある取り組み方をされてはいかがでしょうか。